

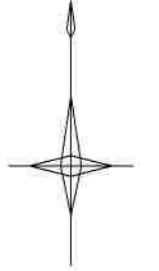
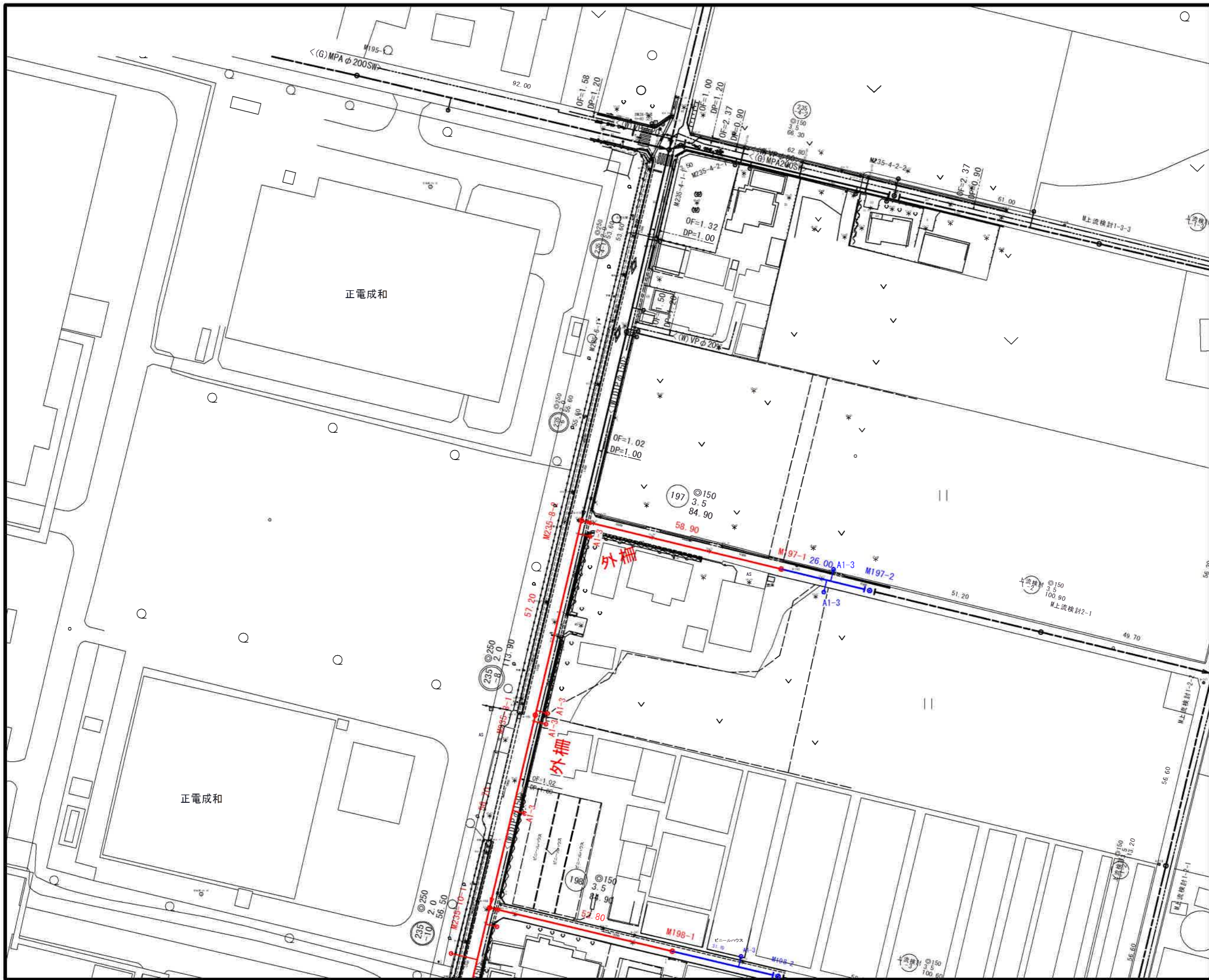
# 位置図

S=1:2,500



施工箇所

工事名	井田川・鹿島野処理区分区下水道布設工事（その1）		
図面名	位置図・系統図		
縮尺	A1 1/2500 A3 1/5000	図面番号	1
事業者名	龜山市		



3

1  
2

凡例

○	独立0号マンホール	←	設計管渠(自然流下)
○	独立1号マンホール	←	設計管渠(圧送)
○	独立2号マンホール	←	埋設管渠
○	独立A1号マンホール	←	埋設計画管渠
○	マンホール	←	水
○	レジン小径マンホール	←	ガス
○	特殊用途マンホール	←	T T
○	副管付マンホール		
○	マンホールポンプ		
○	公共汚水幹線(φ90)		
○	公共汚水幹線(φ100)		

工事名	井田川・能楽野処理分区管渠布設工事(その1)
処理分区名	井田川・能楽野処理分区
工事箇所	亀山市 能楽野町 地内
名称	計画平面図(1)
縮尺	S=1:500
図面番号	2



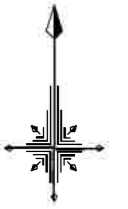
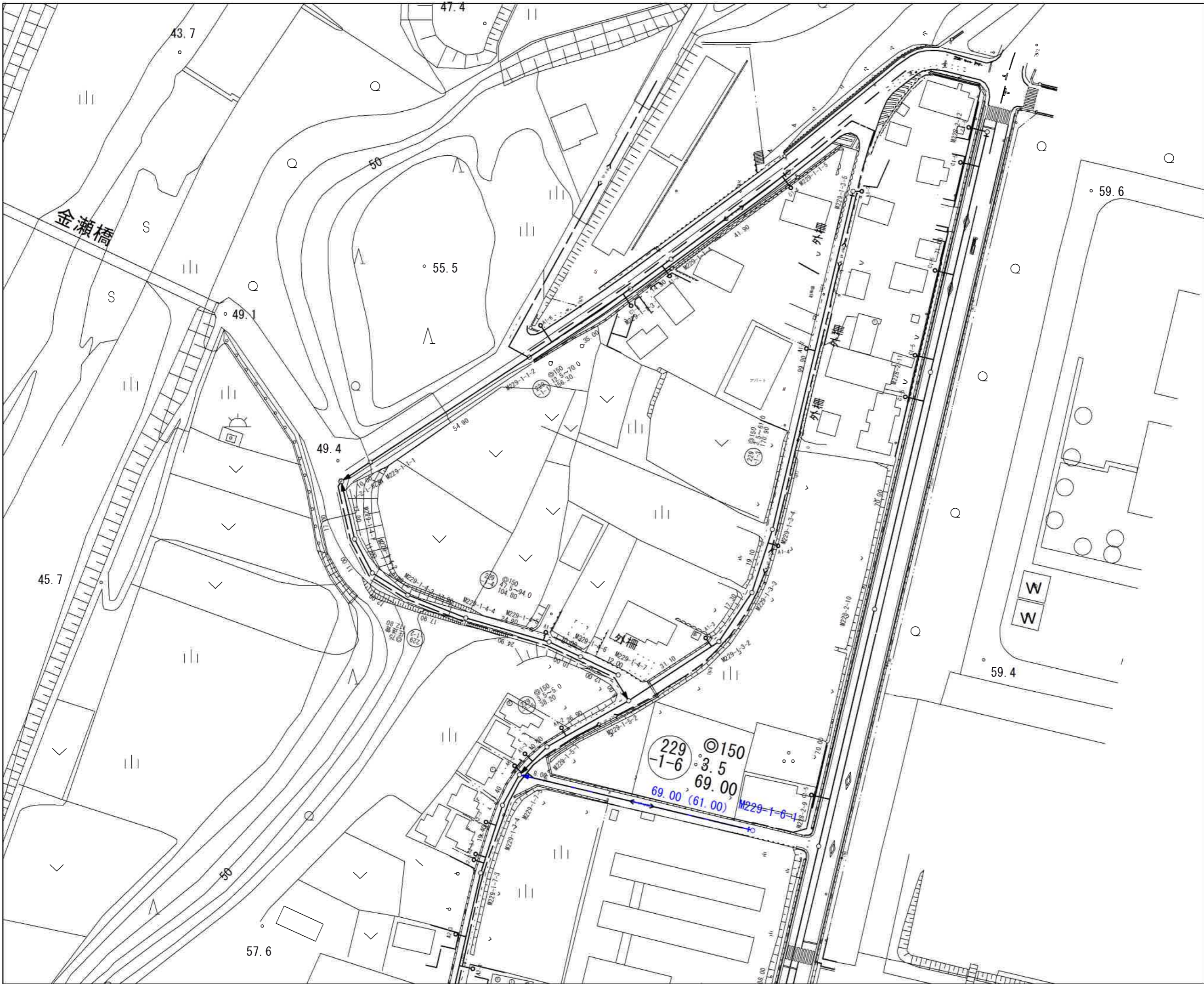
3

1  
2

凡例

○	相立0号マンホール	←	設計管渠(自然流下)
○	相立1号マンホール	←	設計管渠(圧送)
○	相立2号マンホール	←	既設管渠
○	相立A1号マンホール	←	標準計画管渠
○	マンホール	←	水
○	レジン小径マンホール	←	ガス
○	標準小径マンホール	←	H.T.T.
○	新設マンホール		
○	マンホールポンプ		
○	公共汚水渠(側面)		
○	公共汚水渠(頂面)		

工事名	井田川・能楽野地区管渠施設工事(その1)
処理区分名	井田川・能楽野処理区分
工事箇所	亀山市 能楽野町 地内
名称	計画平面図(2)
縮尺	S=1:500
図面番号	3



3

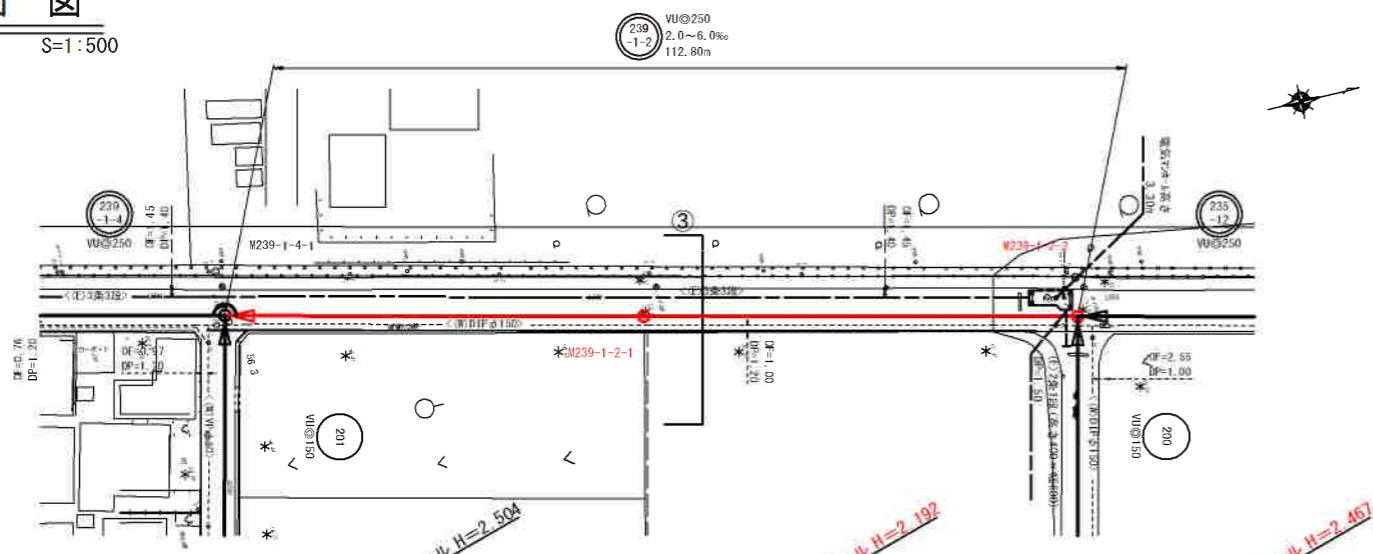
1  
2

凡 例	
○	計画流入管
○	将来流入管
○	既設管
○	1号組立マンホール
○	2号組立マンホール
○	A1号組立マンホール
○	塩ビ製小口径マンホール
○	マンホールポンプ
○	副管付きマンホール
○	公共汚水樹(回収)
○	公共汚水樹(未回収)

工事名	井田川・能褒野処理分区分下水管渠佈設工事(その1)
処理分区分名	井田川・能褒野処理分区分
工事箇所	亀山市 能褒野町 地内
名称	計画平面図(3)
縮尺	S=1:500
図面番号	4

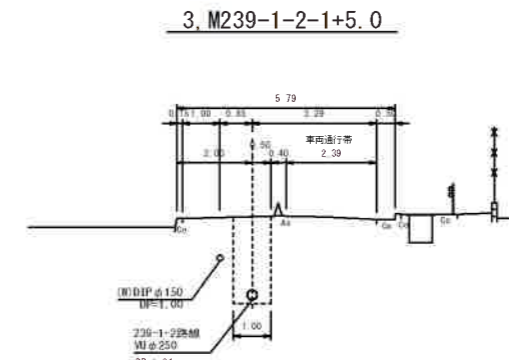
平面図

S=1:500



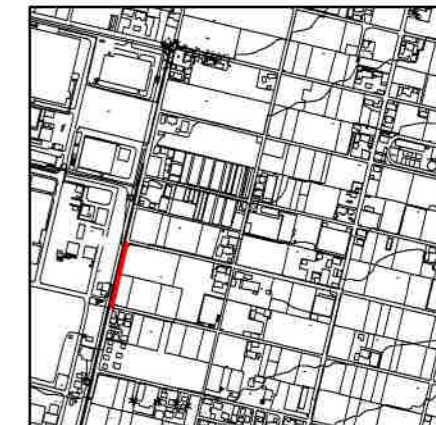
横断図

S=1:100



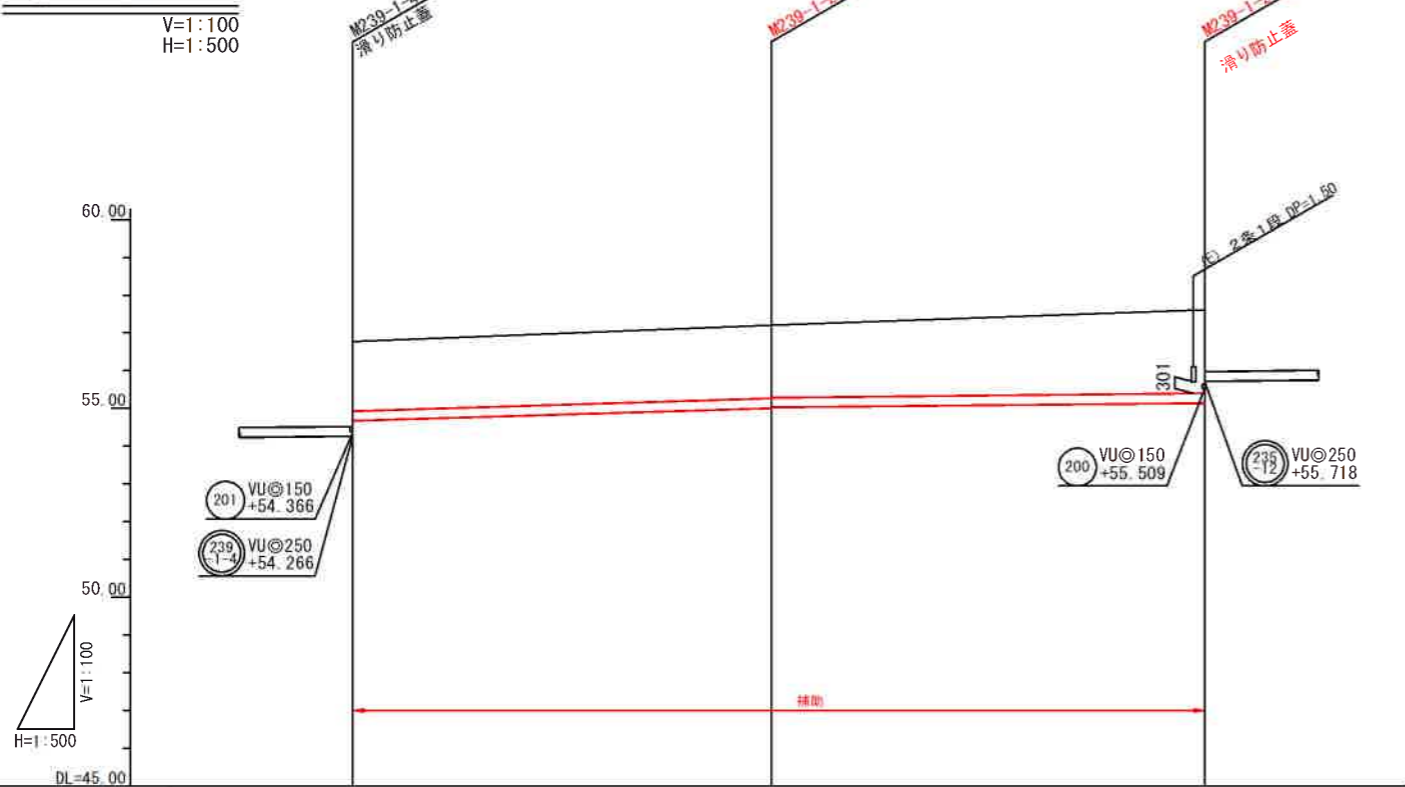
位置図

S=Free



縦断図

V=1:100  
H=1:500



管記号	239-1-2		
管径	VU@250		
勾配 (%)	6.0%	2.0%	
延長	55.40	57.40	
土被	1.84	1.93	2.21
掘削深	2.204	2.301	2.576
管底深	2.095	2.192	2.467
管底高	54.675	55.028	55.143
地盤高	56.77	57.20	57.61
通加距離	0.00	55.40	112.80
点間距離	0.00	55.40	57.40
人孔番号	M239-1-4-1	M239-1-2-1	M239-1-2-2

凡例

○	組立0号マンホール	←	設計管渠(自然流下)
○	組立1号マンホール	←	設計管渠(圧送)
○	組立2号マンホール	←	既設管渠
○	組立A1号マンホール	←	将来計画管渠
○	レンゴフグリッド型マンホール	←	水道
○	箱型マンホール	←	ガス
○	標準型マンホール	←	電気
○	副管付マンホール		
○	マンホールポンプ		
○	公共汚水併(回収)		
○	公共汚水併(未回収)		

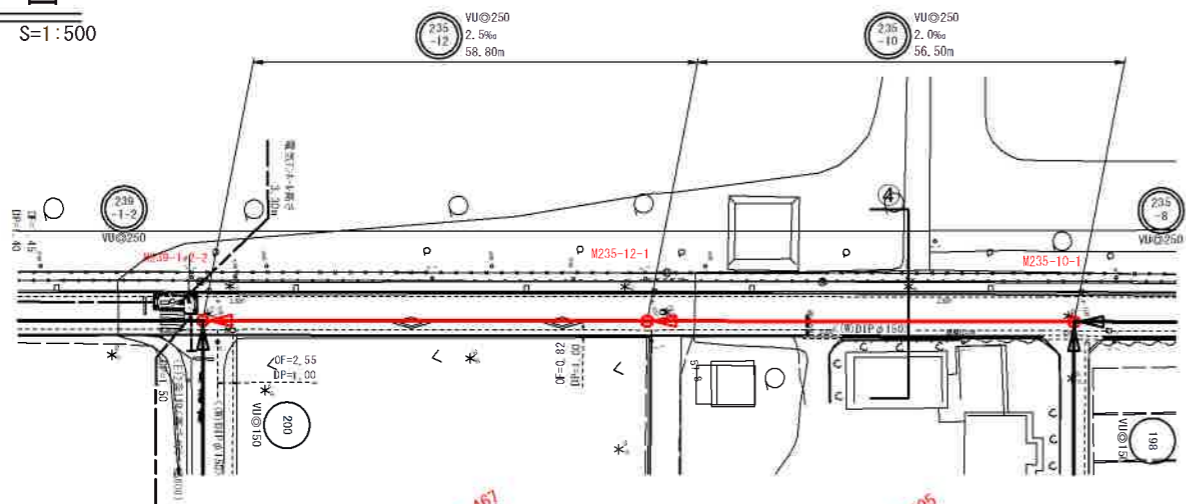
管記号表

239-1-2			
---------	--	--	--

工事名	井田川・能登野処理分岐管渠向設工事(その1)
処理分区名	井田川・能登野処理分区
工事箇所	亀山市 能登野町 地内
名称	平面図・縦断面図・横断面図 (1)
縮尺	図示
図面番号	5

平面図

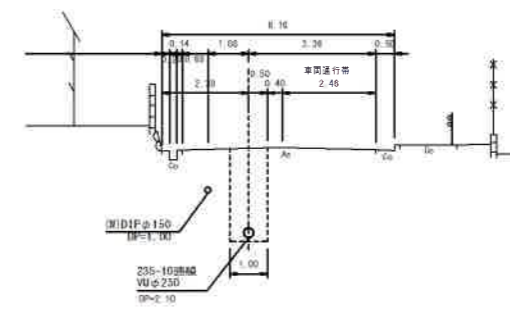
S=1:500



横断図

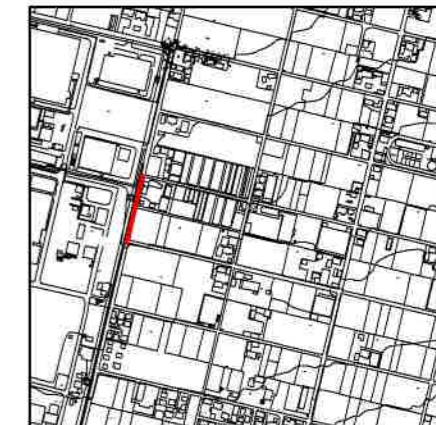
S=1:100

4. M235-1-12-1+28.3



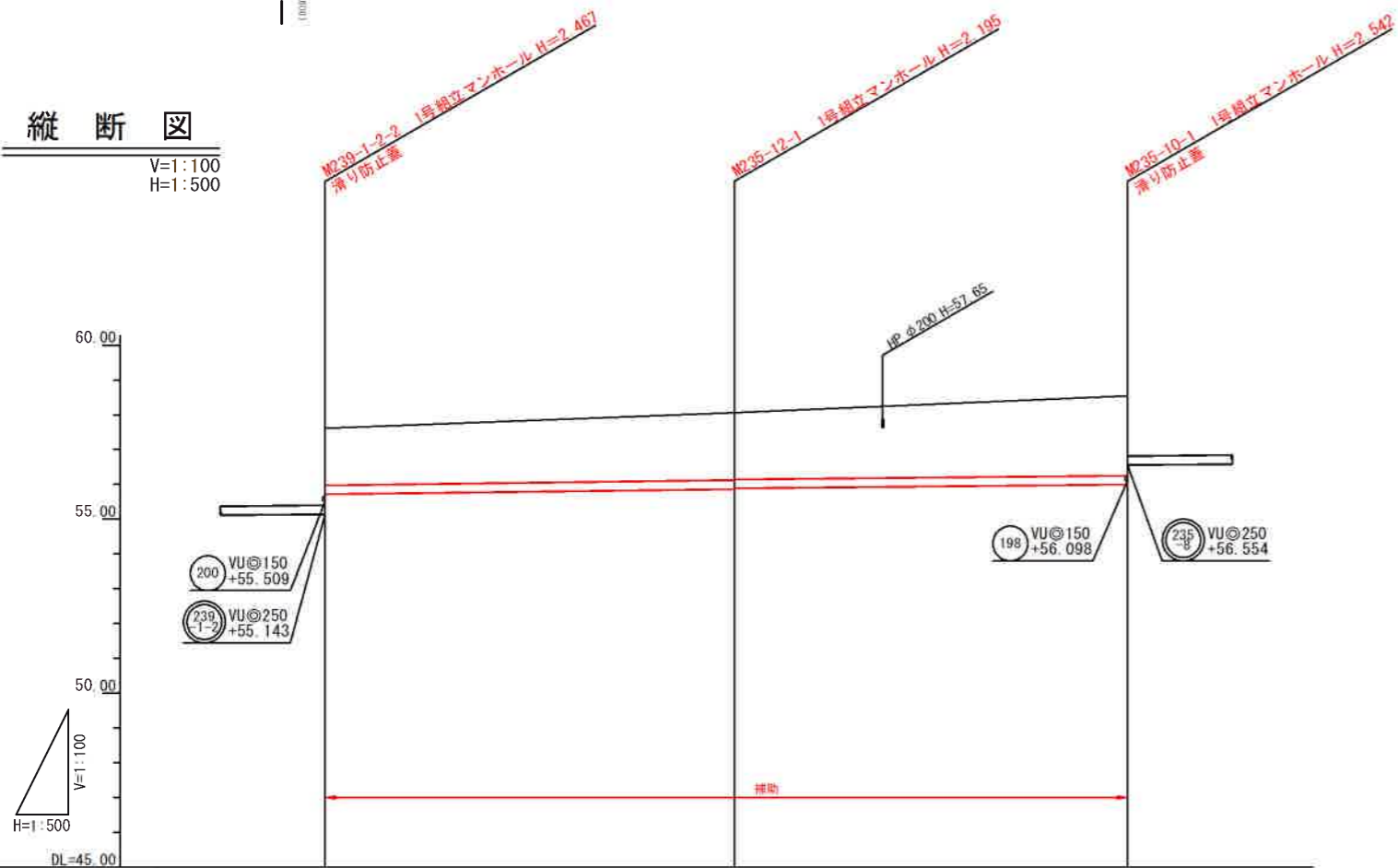
位置図

S=Free



縦断図

V=1:100  
H=1:500



管記号	235-12		235-10	
管径	VU@250			
勾配 (%)	2.5‰		2.0‰	
延長	58.80		56.50	
土被	1.63	1.94	2.28	2.28
掘削深	2.001	2.204	2.651	2.651
管底深	1.892	2.195	2.542	2.542
管底高	55.718	55.865	55.998	55.998
地盤高	57.61	58.06	58.54	58.54
通加距離	0.00	58.80	115.30	115.30
点間距離	0.00	58.80	56.50	115.30
人孔番号	M235-1-2-2	M235-12-1	M235-10-1	

凡例

○	組立0号マンホール	←	設計管渠(自然流下)
○	組立1号マンホール	←	設計管渠(圧送)
○	組立2号マンホール	←	既設管渠
○	組立A1号マンホール	←	将来計画管渠
○	レンゴロクグリッドマンホール	←	水道
○	箱型マンホール	←	ガス
○	徳島型マンホール	←	電気
○	副管付マンホール		
○	マンホールポンプ		
○	公共汚水併(回収)		
○	公共汚水併(未回収)		

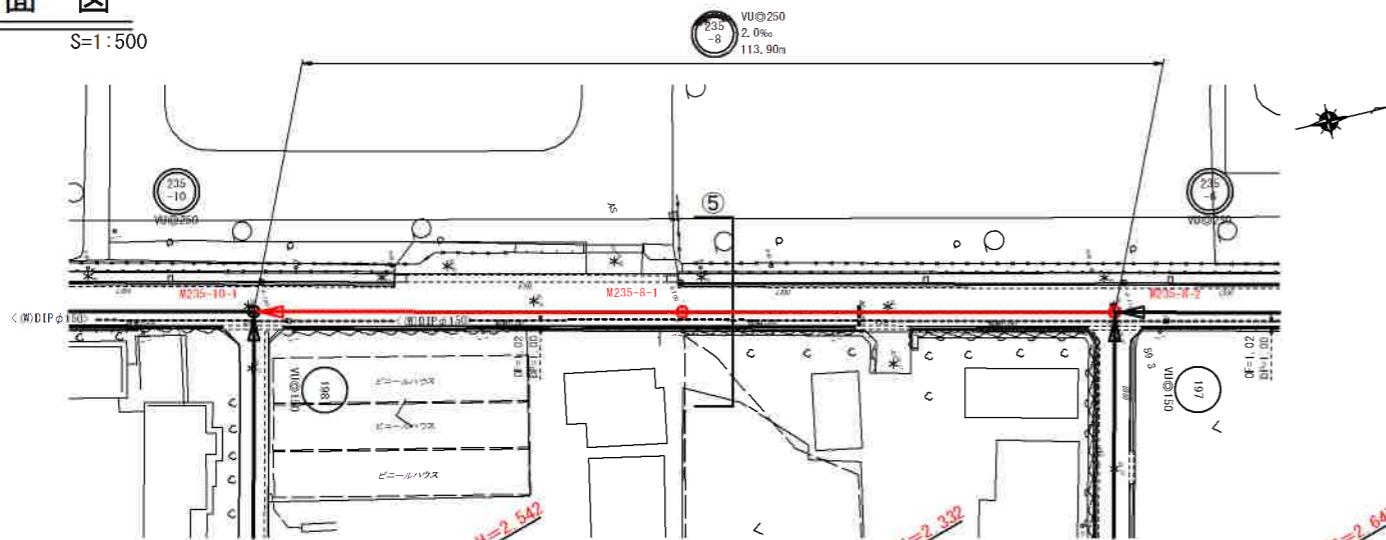
管記号表

235-10	235-12		
--------	--------	--	--

工事名	井田川・能登野処理区分排水管渠工事(その1)
処理区分名	井田川・能登野処理区分
工事箇所	亀山市 能登野町 地内
名称	平面図・縦断面図・横断面図 (2)
縮尺	図示
図面番号	6

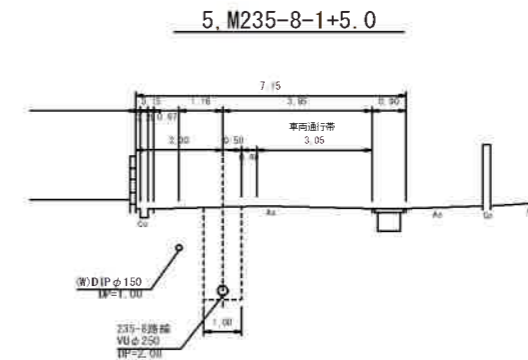
平面図

S=1:500



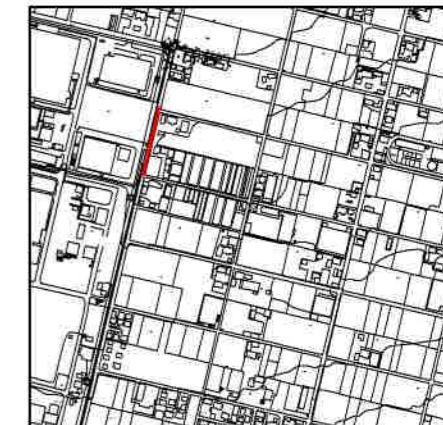
横断図

S=1:100



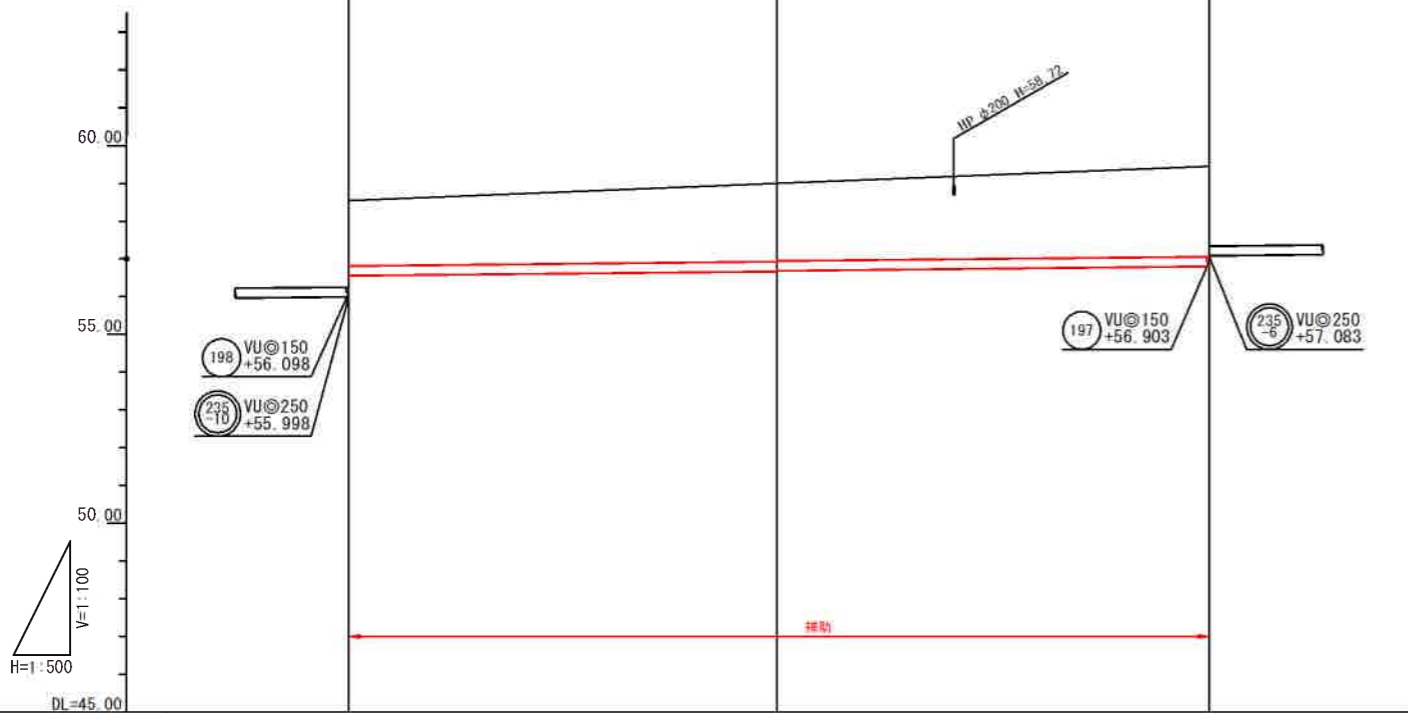
位置図

S=Free



縦断図

V=1:100  
H=1:500



管記号	管径	勾配(‰)	延長
	VU@250	2.0‰	
			56.70
			57.20
土被			1.73
掘削深			2.07
管底深			2.06
管底高			2.44
地盤高			2.42
通加距離			2.39
点間距離			2.75
人孔番号			2.64

凡例

○	組立0号マンホール	←	設計管渠(自然流下)
○	組立1号マンホール	←	設計管渠(圧送)
○	組立2号マンホール	←	既設管渠
○	組立A1号マンホール	←	将来計画管渠
○	レンゴングラード型マンホール	←	水
○	箱型マンホール	←	ガ
○	標準型マンホール	←	ス
○	副管付マンホール	←	電
○	マンホールポンプ		
○	公共汚水併(回収)		
○	公共汚水併(未回収)		

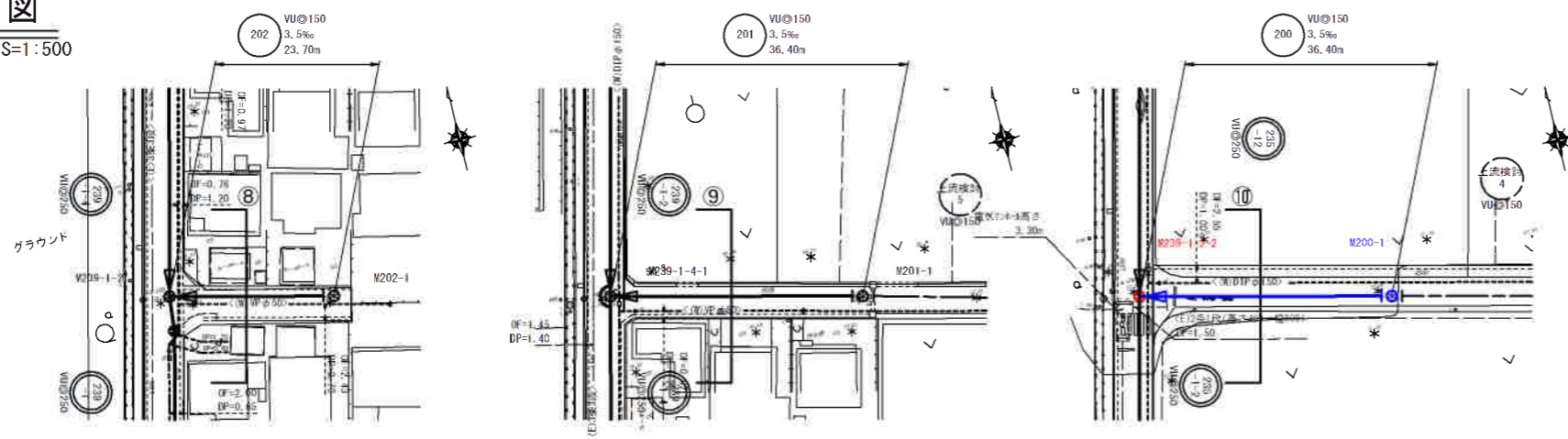
管記号表

○			
○			

工事名	井田川・能登野処理分岐管渠向設工事(その1)
処理分区名	井田川・能登野処理分区
工事箇所	亀山市 能登野町 地内
名称	平面図・縦断面図・横断面図 (3)
縮尺	図示
図面番号	7

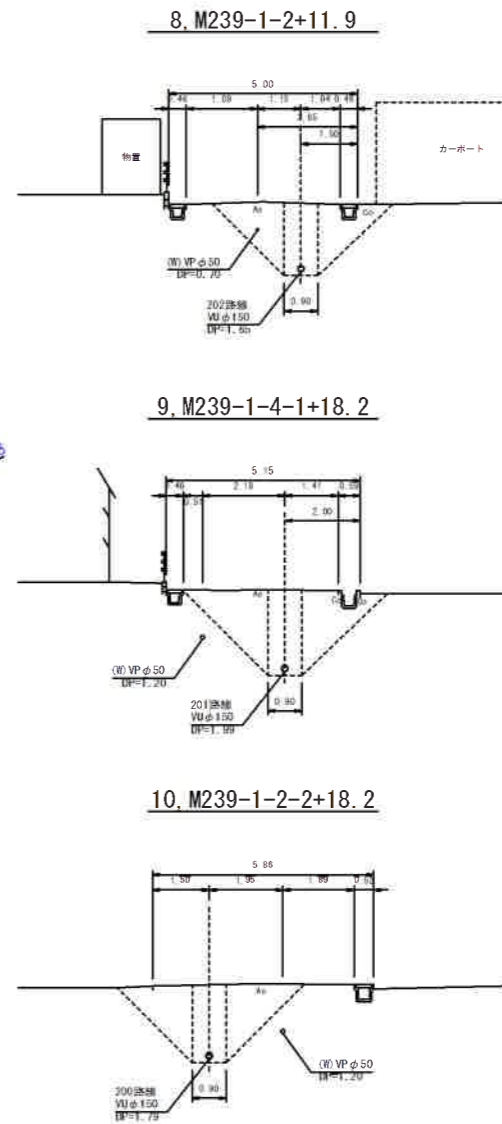
平面図

S=1:500



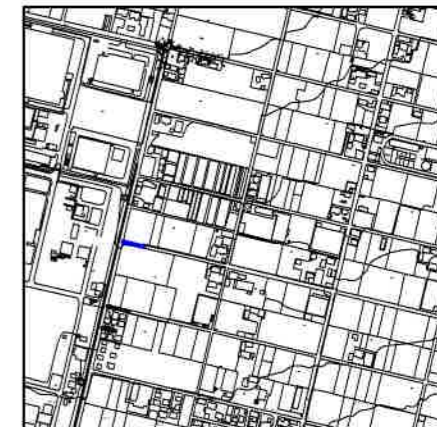
横断図

S=1:100



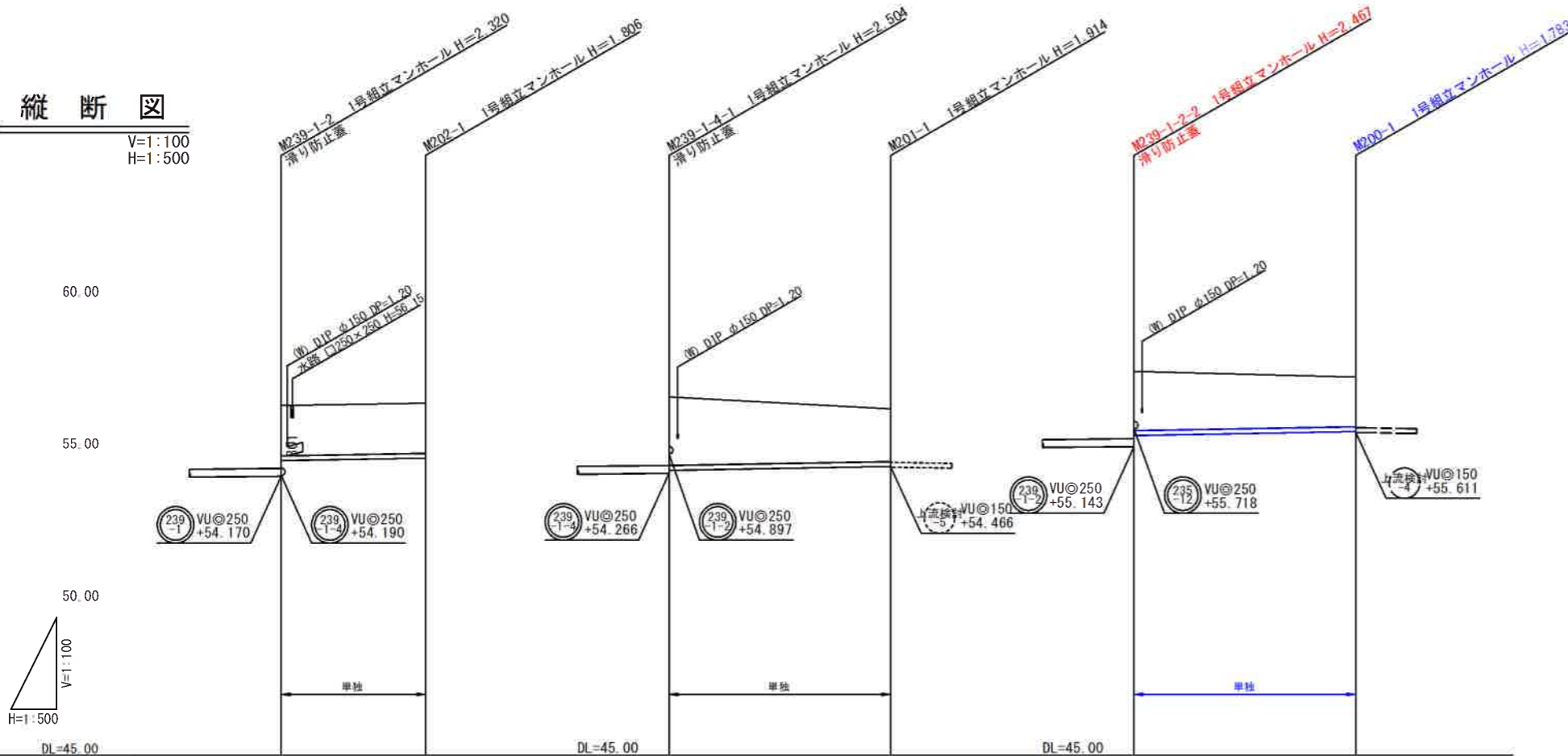
位置図

S=Free



縦断図

V=1:100  
H=1:500



管記号	202		201		200	
管径	VU@150		VU@150		VU@150	
勾配 (%)	3.5%		3.5%		3.5%	
延長	23.70		36.40		36.40	
土被	1.65	1.65	2.25	1.73	1.94	1.62
掘削深	1.917	1.914	2.512	1.994	2.207	1.889
管底深	1.809	1.806	2.404	1.886	2.101	1.783
管底高	54.681	54.764	54.366	54.494	55.509	55.637
地盤高	56.49	56.57	56.77	56.38	57.61	57.42
追加距離	0.00	23.70	0.00	36.40	0.00	36.40
点間距離	0.00	23.70	0.00	36.40	0.00	36.40
人孔番号	M239-1-2	M202-1	M239-1-4-1	M201-1	M239-1-2-2	M200-1

※M202-1に取付管接続する際は、取付管高さ及び位置を調整し、削孔間隔100mmを確保すること。

凡例

○	組立0号マンホール	←	設計管渠(自然流下)
○	組立1号マンホール	←	設計管渠(圧送)
○	組立2号マンホール	←	既設管渠
○	組立A1号マンホール	←	将来計画管渠
○	レンゴクグリートマンホール	←	水道
○	組立100mmマンホール	←	ガス
○	標準型マンホール	←	電気
○	副管付マンホール		
○	マンホールポンプ		
○	公共汚水併(回収)		
○	公共汚水併(未回収)		

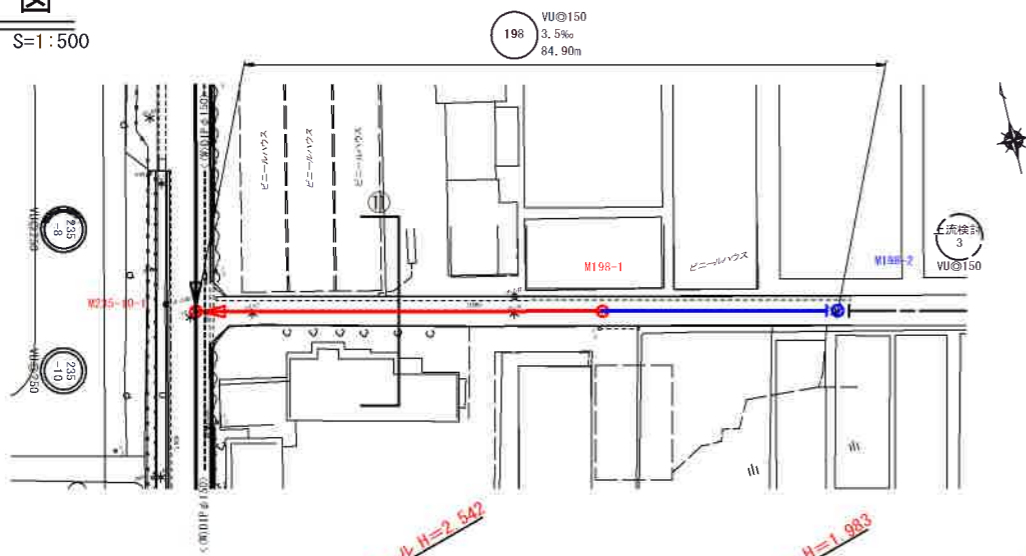
管記号表

202	201	200		
-----	-----	-----	--	--

工事名	井田川・能登野排水処理管渠工事(その1)
処理分区名	井田川・能登野処理分区
工事箇所	亀山市 能登野町 地内
名称	平面図・縦断面図・横断面図 (4)
縮尺	図示
図面番号	8

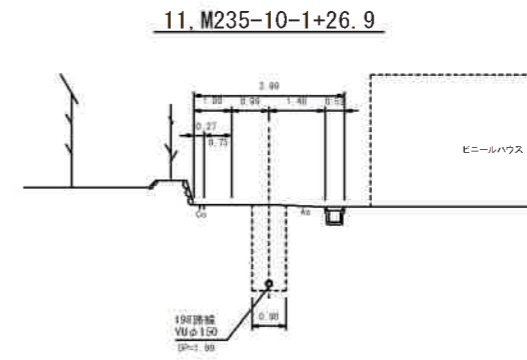
平面図

S=1:500



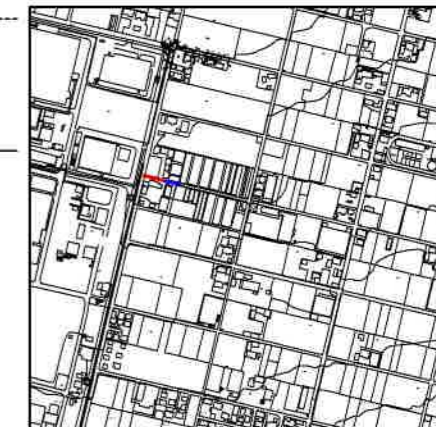
横断面図

S=1:100



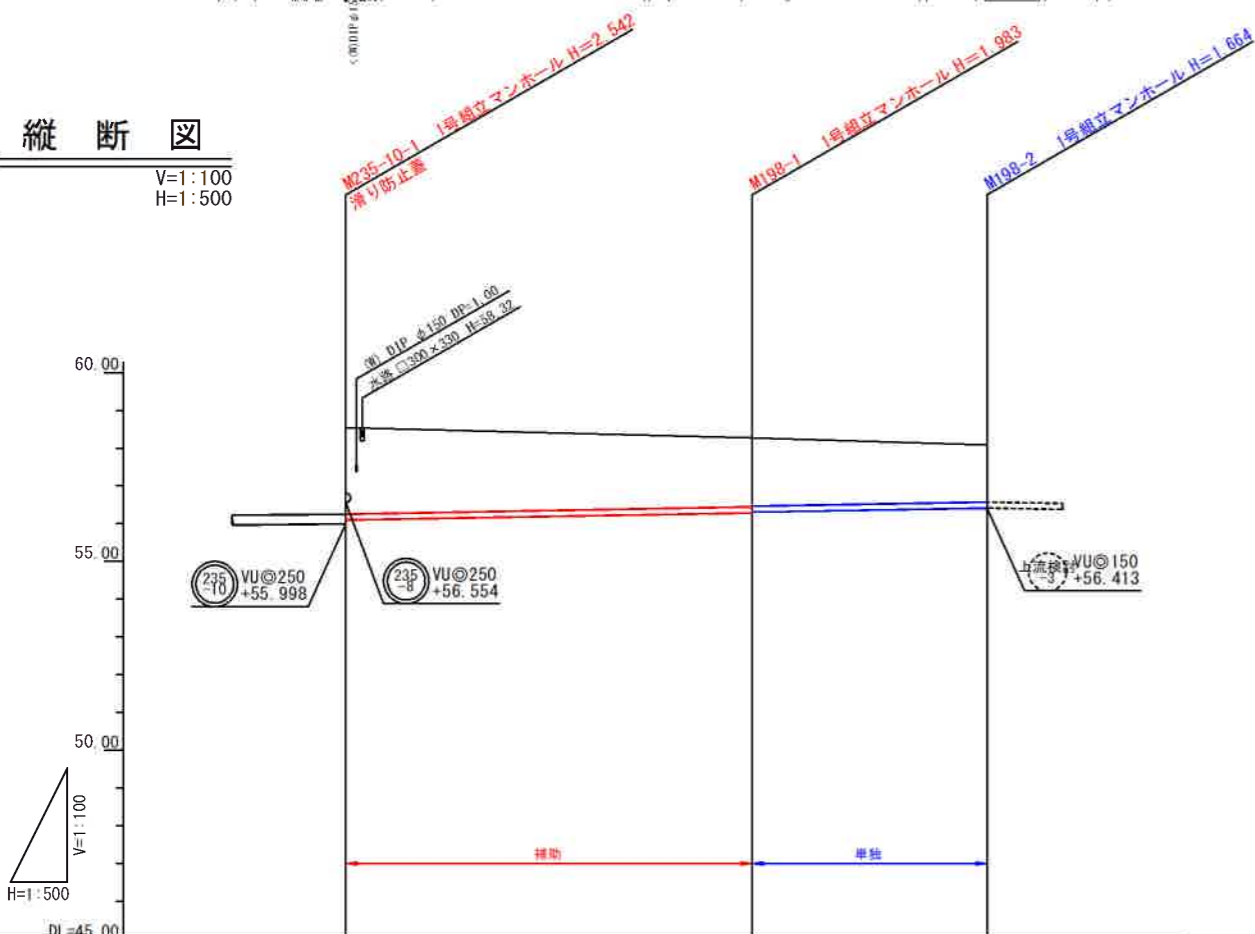
位置図

S=Free



縦断面図

V=1:100  
H=1:500



凡例

○	組立0号マンホール	←	設計管渠(自然流下)
○	組立1号マンホール	←	設計管渠(圧送)
○	組立2号マンホール	←	既設管渠
○	組立A1号マンホール	←	将来計画管渠
○	レンゴングラウト型マンホール	←	水
○	箱型マンホール	←	ガ
○	標準型マンホール	←	電
○	副管付マンホール		
○	マンホールポンプ		
○	公共汚水併(回収)		
○	公共汚水併(未回収)		

管記号表

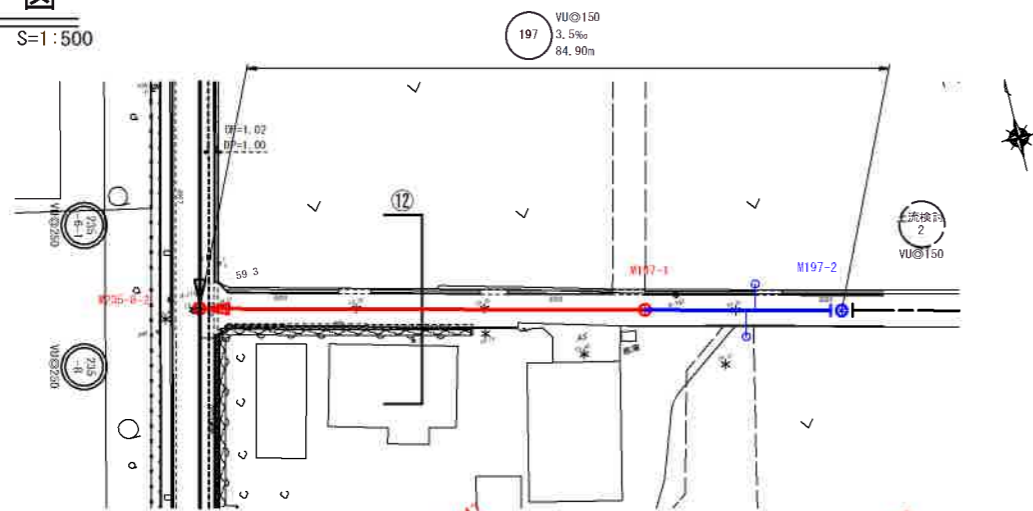
198			

管記号	198		
管径	VU@150		
勾配(%)	3.5%		
延長	53.80	31.10	
土被	2.28	1.82	1.50
掘削深	2.548	2.088	1.770
管底深	2.442	1.983	1.664
管底高	56.098	56.287	56.416
地盤高	58.54	58.27	58.08
通加距離	0.00	53.80	84.90
点間距離	0.00	53.80	31.10
人孔番号	M235-10-1	M198-1	M198-2

工事名	井田川・能登野処理分岐管渠向設工事(その1)
処理分区名	井田川・能登野処理分区
工事箇所	亀山市 能登野町 地内
名称	平面図・縦断面図・横断面図 (5)
縮尺	図示
図面番号	9

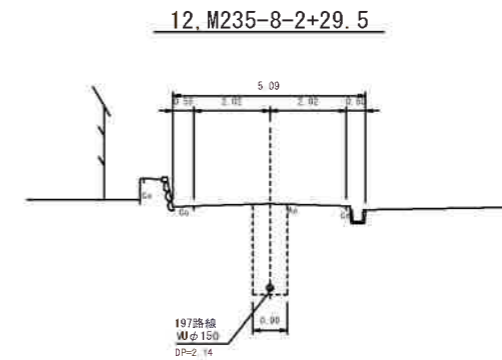
平面図

S=1:500



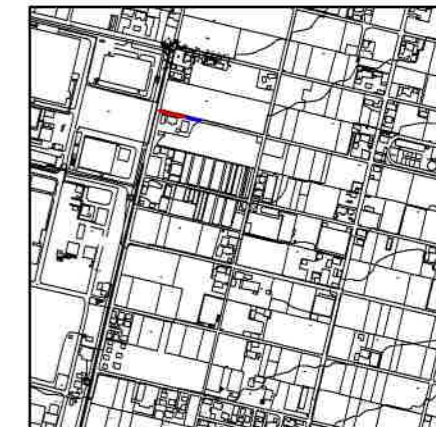
横断面図

S=1:100



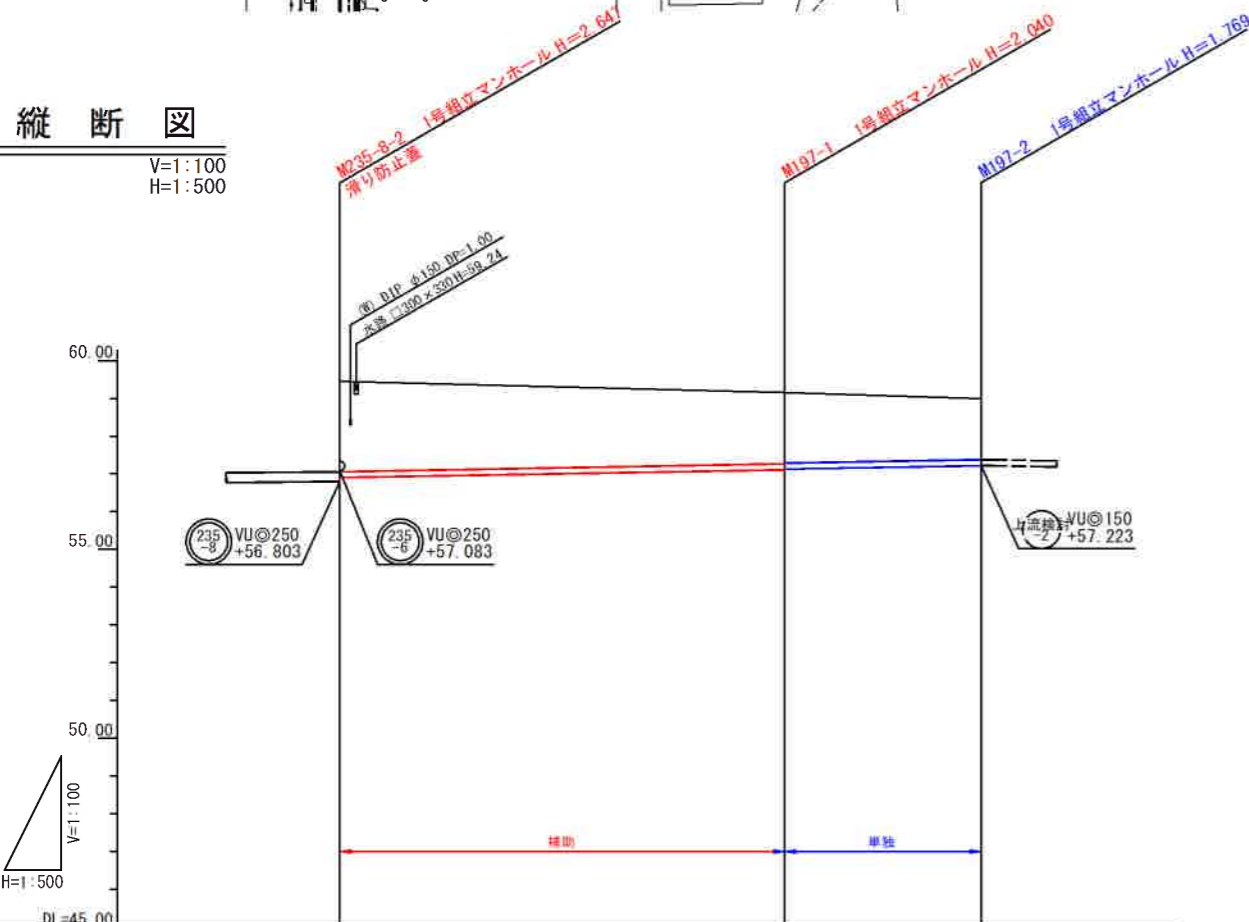
位置図

S=Free



縦断面図

V=1:100  
H=1:500



凡例

○	組立0号マンホール	←	設計管渠(自然流下)
○	組立1号マンホール	←	設計管渠(圧送)
○	組立2号マンホール	←	既設管渠
○	組立A1号マンホール	←	将来計画管渠
○	レンゴクグリッド型マンホール	←	水
○	箱型マンホール	←	ガ
○	標準型マンホール	←	ス
○	側管付マンホール	←	電
○	マンホールポンプ		
○	公共汚水併(回収)		
○	公共汚水併(未回収)		

管記号表

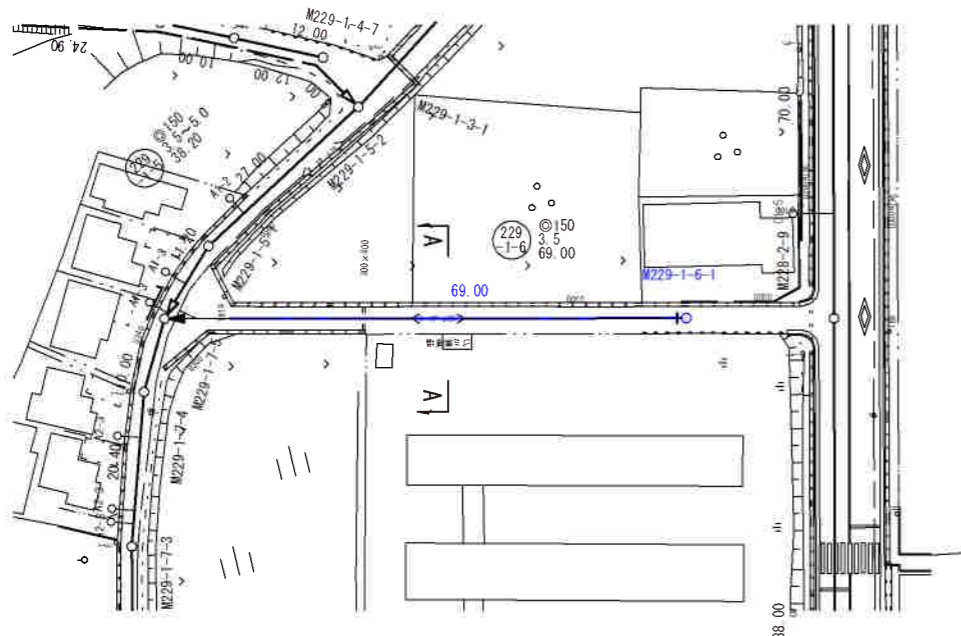
197			

管記号		197	
管径		VU@150	
勾配(‰)		3.5‰	
延長		58.90	26.00
土被	2.39	1.88	1.61
掘削深	2.653	2.146	1.875
管底深	2.547	2.040	1.769
管底高	56.903	57.100	57.221
地盤高	59.45	59.15	58.99
追加距離	0.00	58.90	84.90
点間距離	0.00	58.90	26.00
人孔番号	M235-8-2	M197-1	M197-2

工事名	井田川・能登野処理区分区管渠工事(その1)
処理区分名	井田川・能登野処理区分区
工事箇所	亀山市 能登野町 地内
名称	平面図・縦断面図・横断面図 (6)
縮尺	図示
図面番号	10

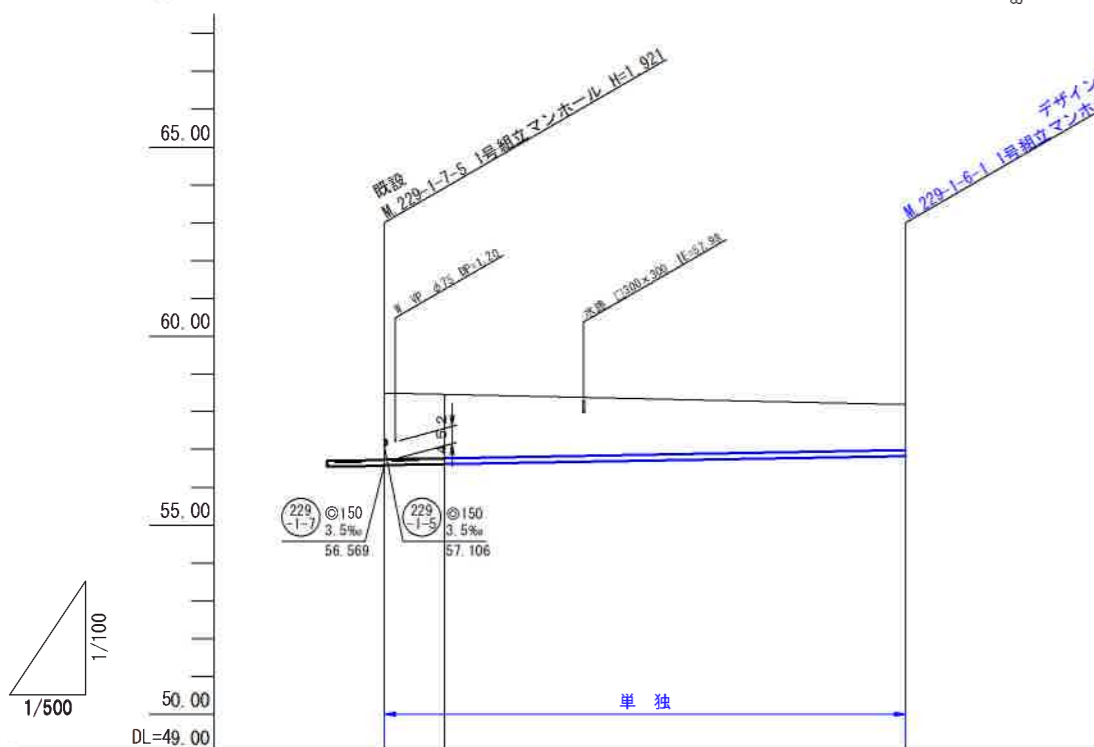
平面図

S=1:500



縦断面図

縦 1:100  
横 1:500



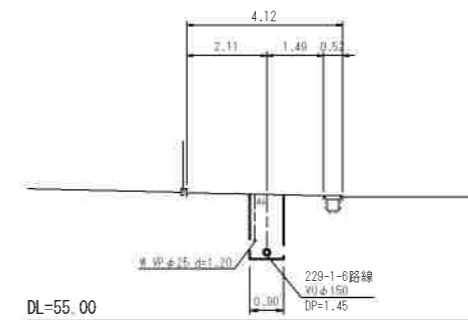
管記号	229-1-6		
管径(m)	φ150		
勾配(‰)	3.5		
人孔間距離(m)	69.00 (61.0)		
土被り(m)	1.74	1.87	1.26
掘削深(m)	2.007	1.939	1.466
管底深(m)	1.901	1.833	1.380
管底高(m)	56.899	56.617	56.000
地盤高(m)	58.49	58.45	58.19
追加距離(m)	0.00	8.00	69.00
測点	229-1-7-5	+8.0	229-1-6-1

横断面図

S=1:100

A. M229-1-7-5+37.5

GH=58.35  
FH=56.720



位置図

S-Free



凡 例	
○←	計画流入管
○←---	将来流入管
○←	既設管
○	1号組立マンホール
⊙	2号組立マンホール
⊠	A1号組立マンホール
⊕	塩ビ製小口径マンホール
⊗	マンホールポンプ
○	副管付きマンホール
○	公共汚水樹(回収)
●	公共汚水樹(未回収)

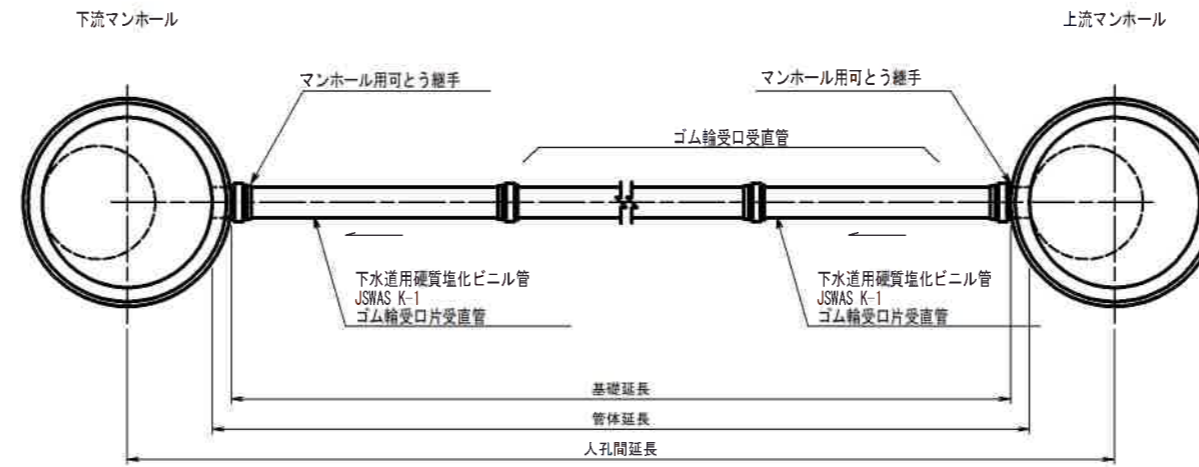
229-1-6			

工事名	井田川・能褒野処理区分下水管渠布設工事(その1)
処理区分名	井田川・能褒野処理区分
工事箇所	亀山市 能褒野町 地内
名称	平面図・縦断面図・横断面図(7)
縮尺	図示
図面番号	11

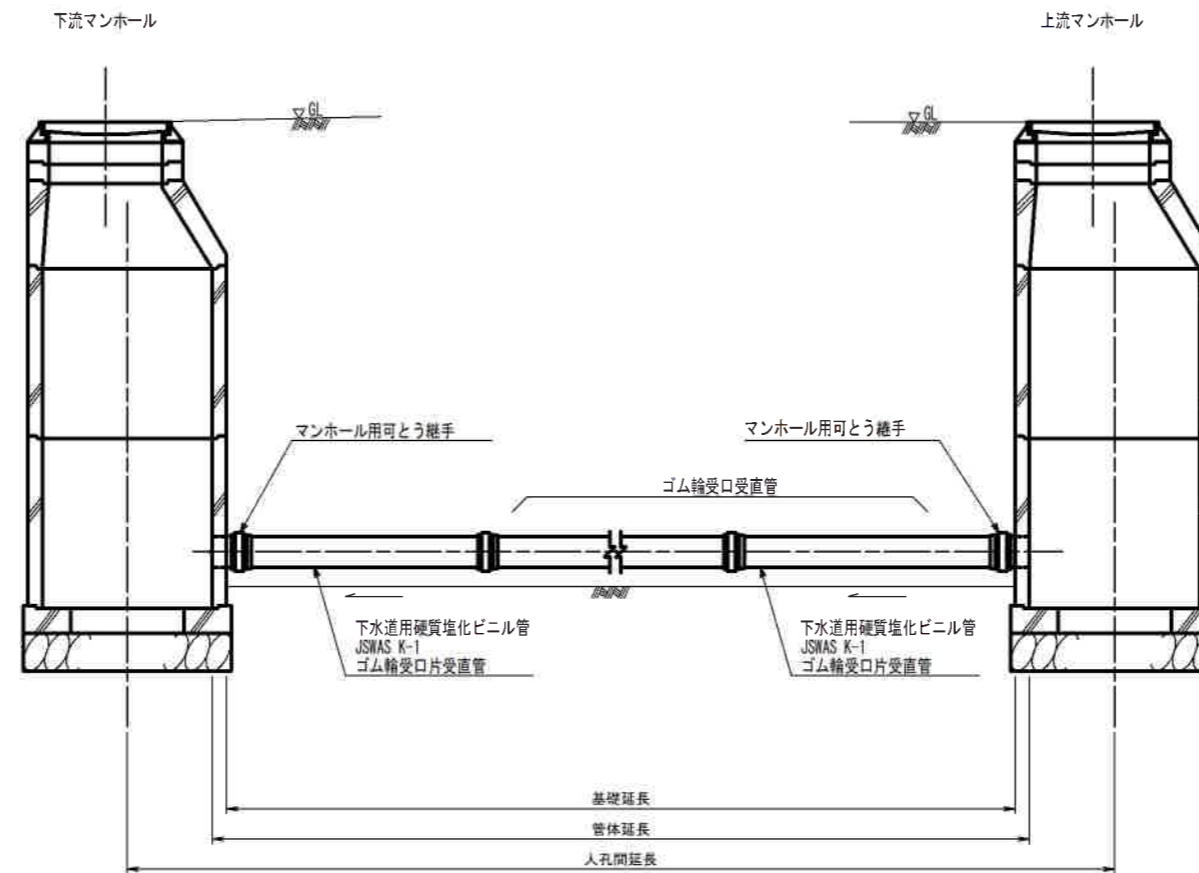
# 本管布設工標準図

S = 1 : 20

## 平面図



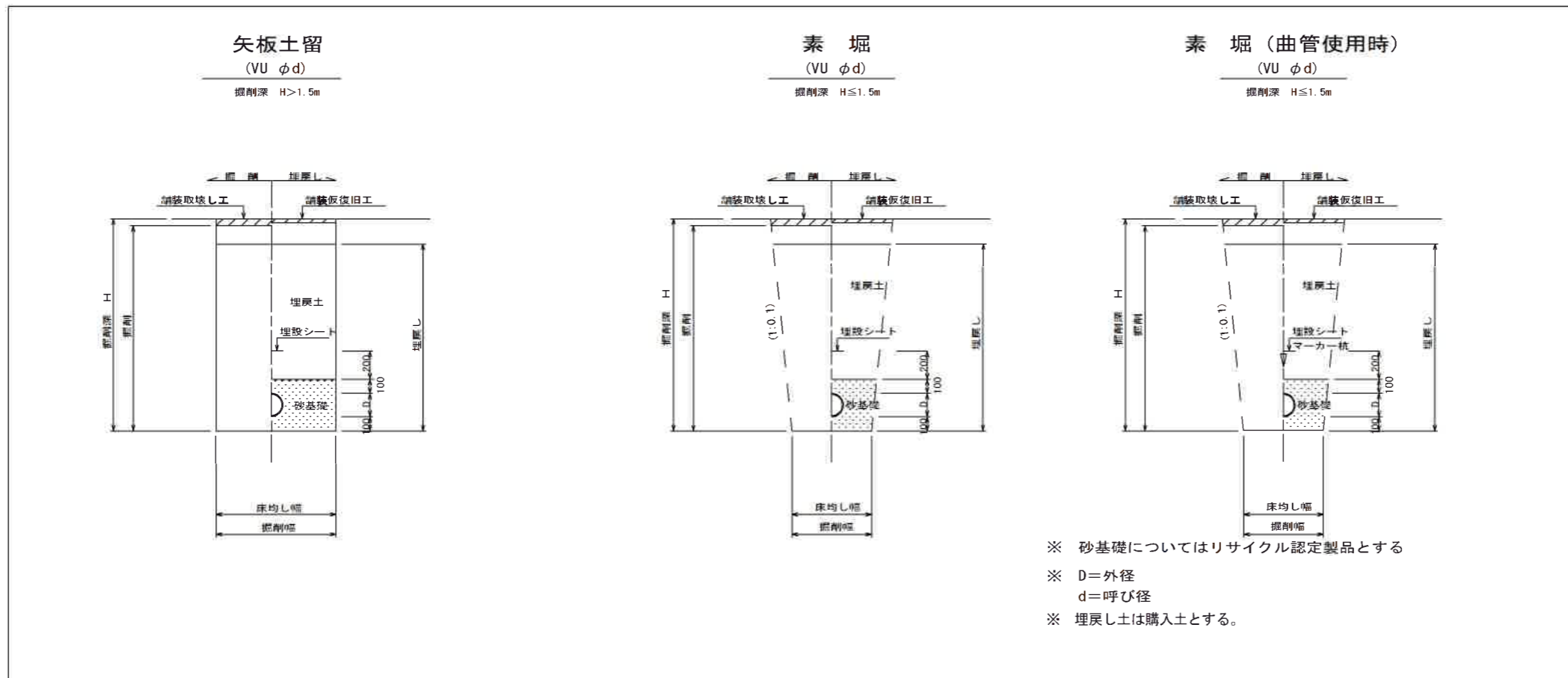
## 断面図



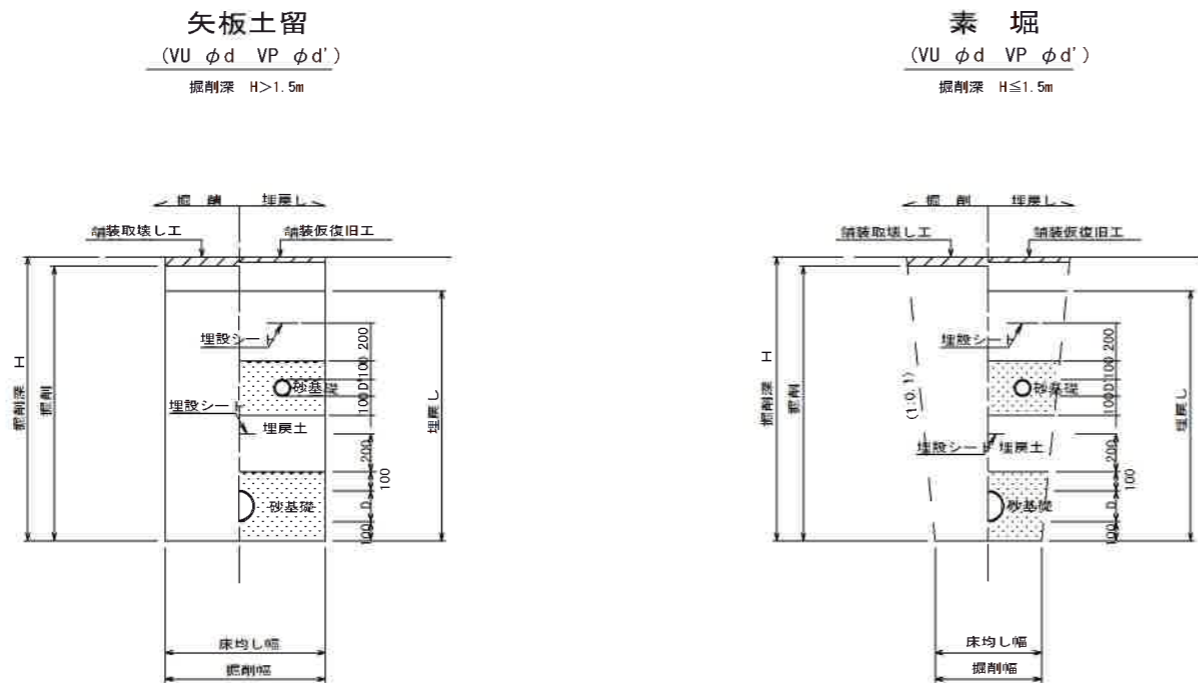
工事名	井田川・能登野処理分区下水管架布設工事（その1）
処理分区名	井田川・能登野処理分区
工事箇所	亀山市 能登野町 地内
名称	本管布設工標準図
縮尺	A1:S=1:20 A3:S=1:40
図面番号	12

# 土工標準図

S=1:20



## 自然流下管+圧送管



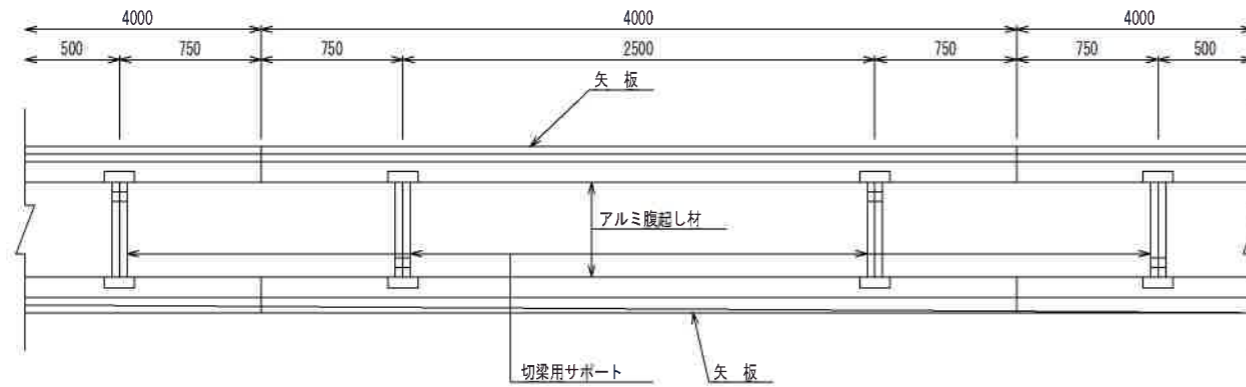
- ※ 砂基礎についてはリサイクル認定製品とする  
 ※ D D' =外径  
 d d' =呼び径  
 ※ 県道車道部分の路床部分埋戻しについてはRC-40

工事名	井田川・能褒野処理分区下水道管架布設工事 (その1)
処理分区名	井田川・能褒野処理分区
工事箇所	亀山市 能褒野町 地内
名称	土工標準図
縮尺	A1:S=1:20 A3:S=1:40
図面番号	13

# 土留工標準図

S = 1 : 20

平面図

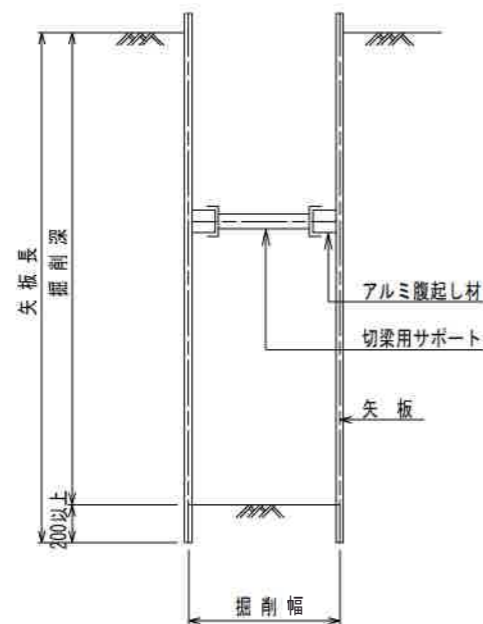


使用区分

土留工法	掘削深 H (m)	矢板長 L 1 (m)	矢板厚 t (mm)	支保工			摘要
				段数	腹起し厚 (cm)	切梁り末口 (cm)	
軽量鋼矢板	$H \leq 1.30$	1.500	35	1	12	切梁用サポート	
	$1.30 < H \leq 1.80$	2.000	35	1	12	切梁用サポート	
	$1.80 < H \leq 2.00$	2.500	35	1	12	切梁用サポート	
	$2.00 < H \leq 2.30$	2.500	35	2	12	切梁用サポート	
	$2.30 < H \leq 2.80$	3.000	35	2	12	切梁用サポート	
	$2.80 < H \leq 3.30$	3.500	35	2	12	切梁用サポート	
	$3.30 < H \leq 3.50$	4.000	35	2	12	切梁用サポート	
	$3.50 < H \leq 3.80$	4.000	35	3	12	切梁用サポート	

1 段梁

掘削深  $\leq 2.00\text{m}$



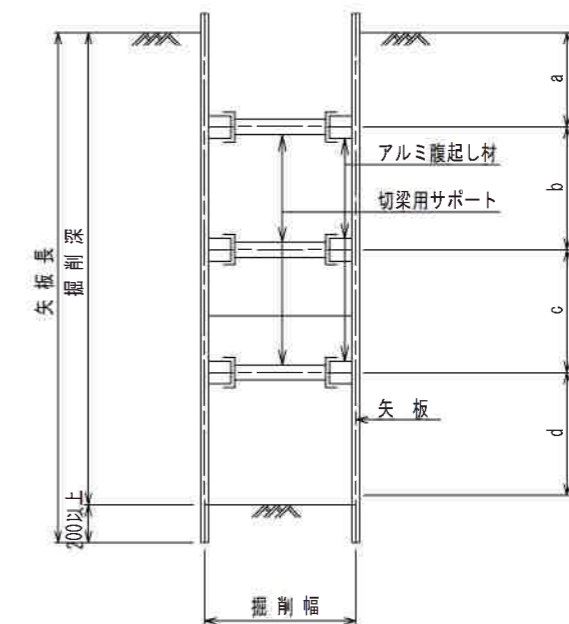
2 段梁

$2.00\text{m} < \text{掘削深} \leq 3.50\text{m}$



3 段梁

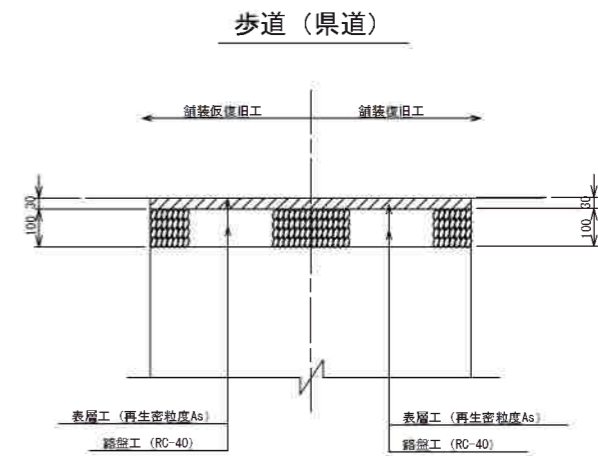
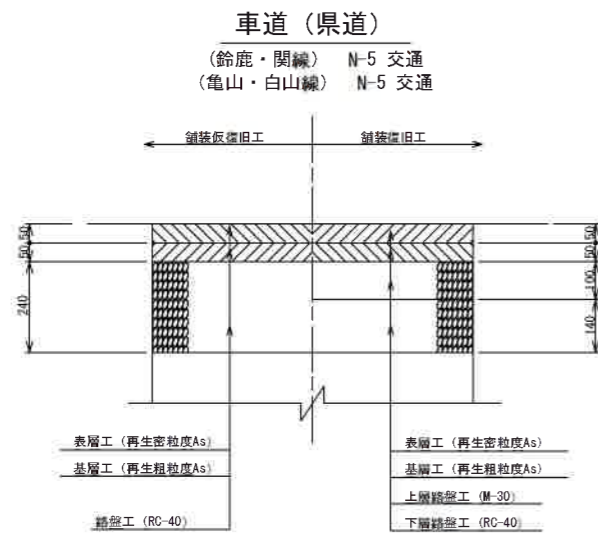
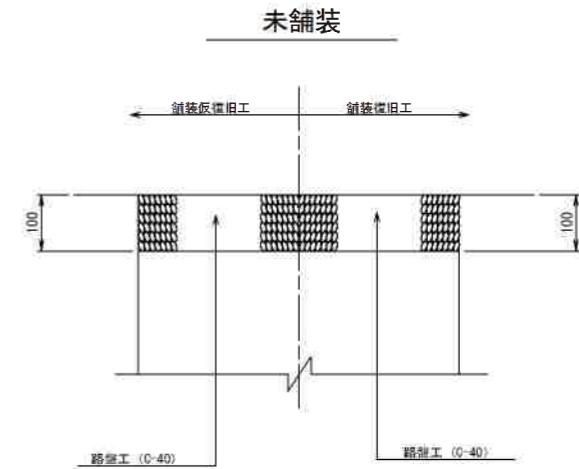
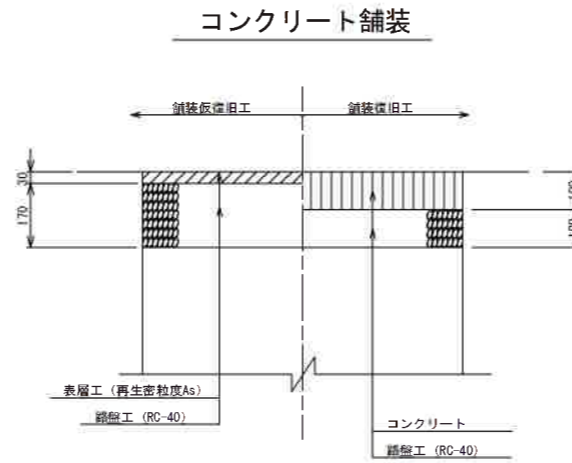
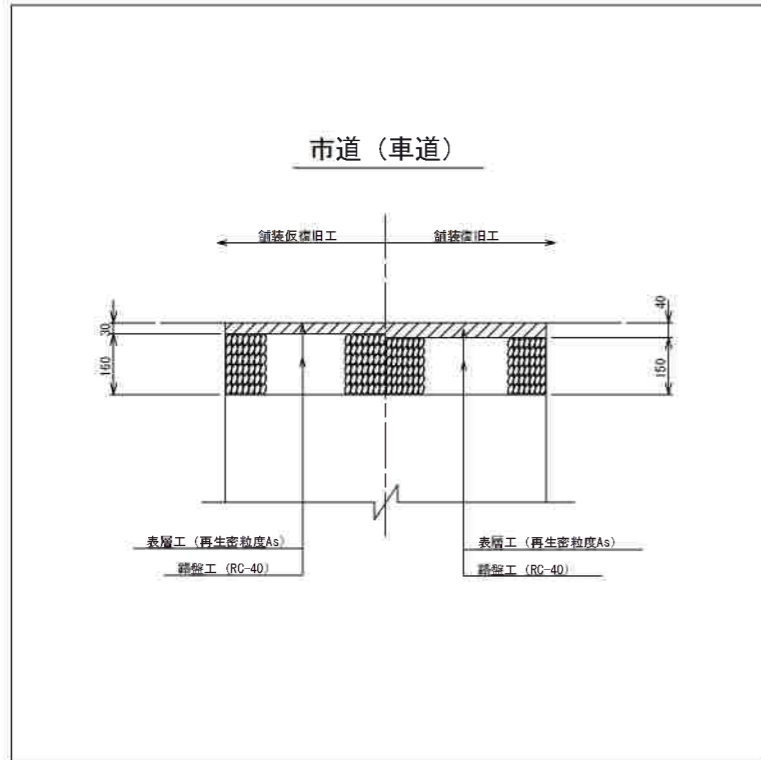
$3.50\text{m} < \text{掘削深} \leq 3.80\text{m}$



工事名	井田川・能褒野処理区分区下水道管渠布設工事(その1)
処理区分名	井田川・能褒野処理区分
工事箇所	亀山市 能褒野町 地内
名称	土留工標準図
縮尺	A1:S=1:20 A3:S=1:40
図面番号	14

# 舗装復旧図

S = 1 : 10



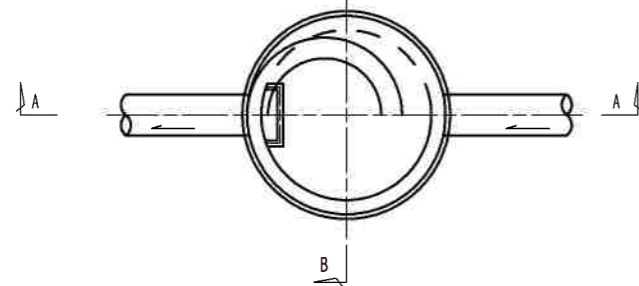
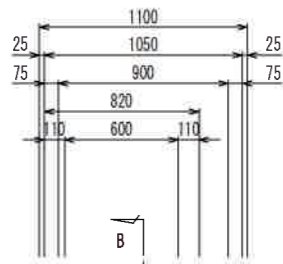
工事名	井田川・能袋野処理分区下水道管渠布設工事（その1）
処理分区名	井田川・能袋野処理分区
工事箇所	亀山市 能袋野町 地内
名称	舗装復旧図
縮尺	A1:S=1:10 A3:S=1:20
図面番号	15

# 1号組立マンホール標準図

JSWAS A-11

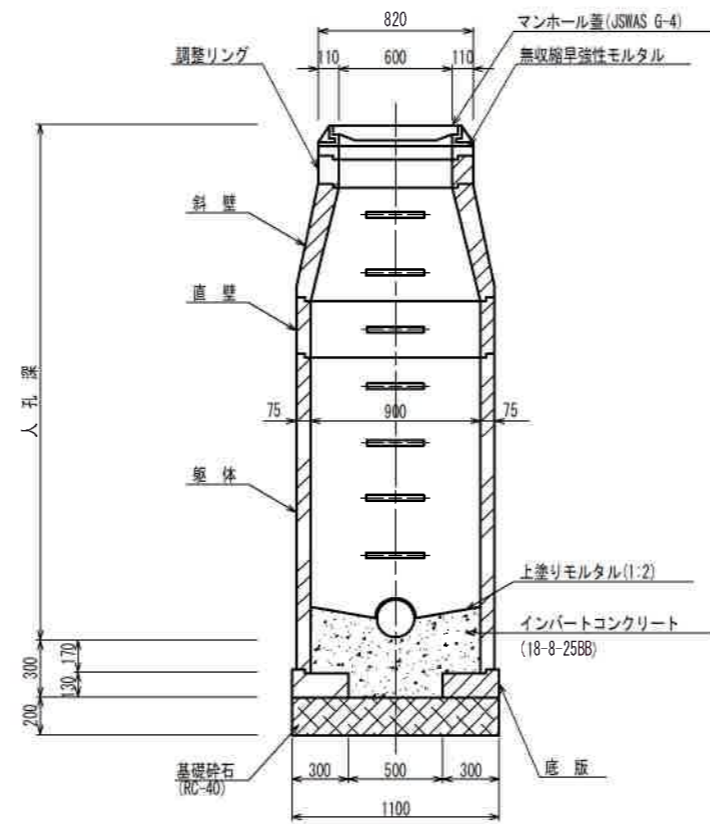
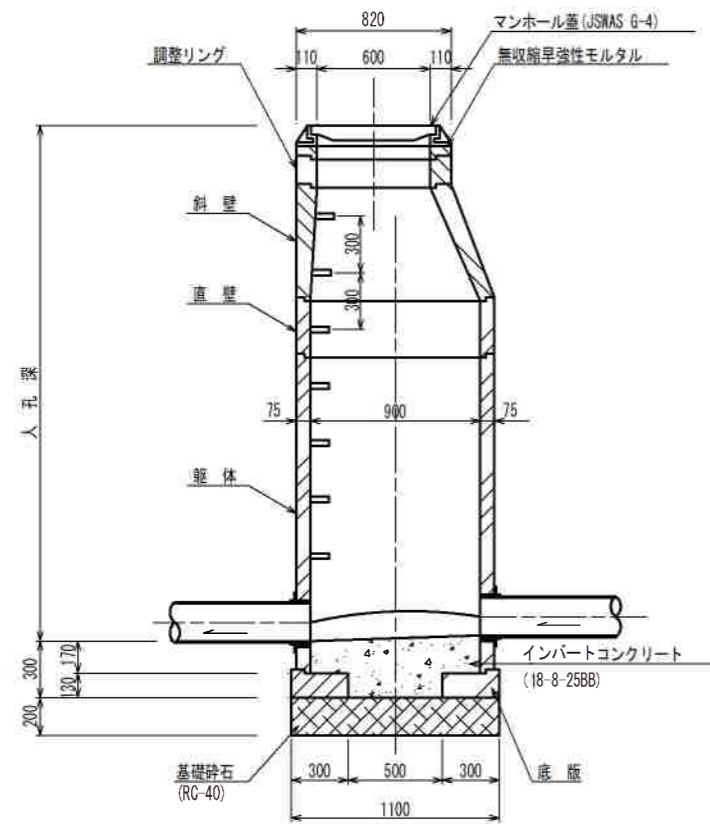
S=1:20

平面図

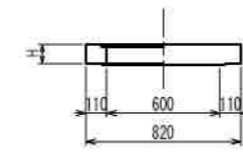


A-A 断面図

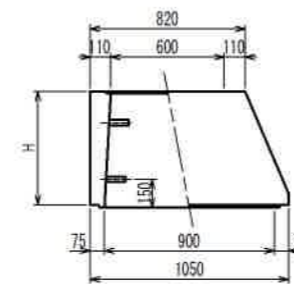
B-B 断面図



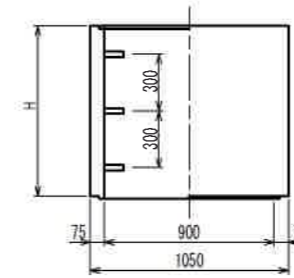
調整リング



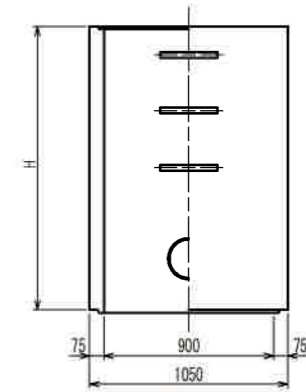
斜壁



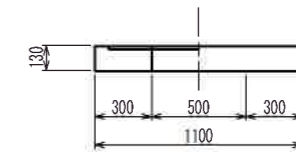
直壁



躯体



底板

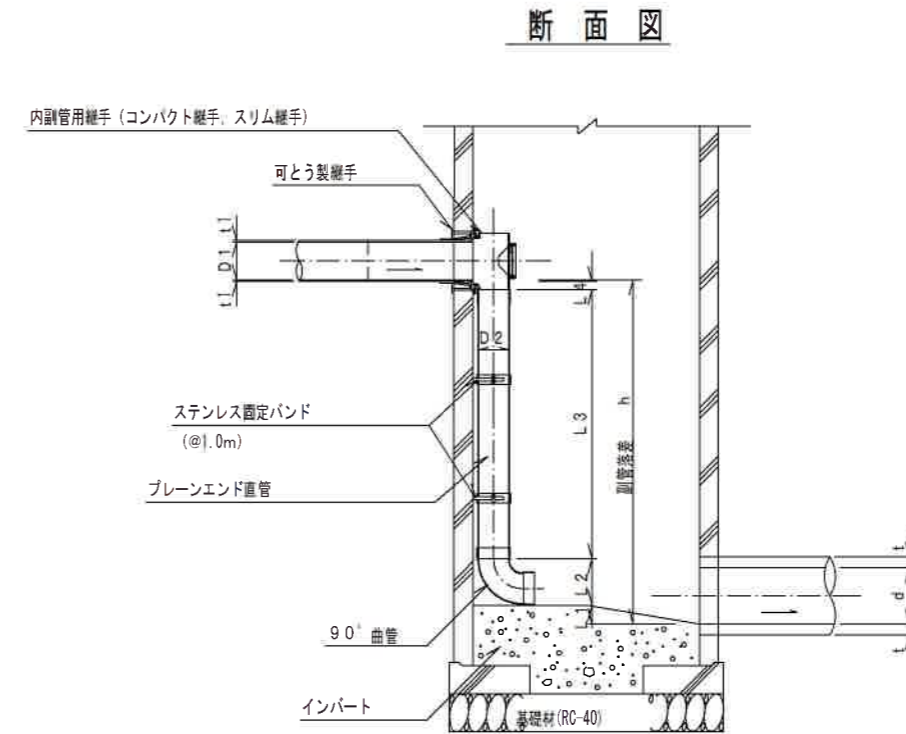
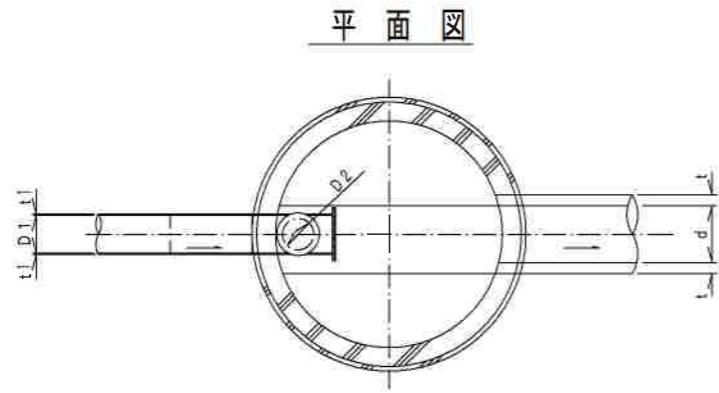


寸法表

種別	H (mm)					
調整リング	50	100	150			
斜壁	300	450	600			
直壁	300	600	900	1200	1500	1800
躯体	600	900	1200	1500	1800	

工事名	井田川・能褒野処理分区下水道管渠布設工事(その1)
処理分区名	井田川・能褒野処理分区
工事箇所	亀山市 能褒野町 地内
名称	1号組立マンホール標準図
縮尺	A1:S=1:20 A3:S=1:40
図面番号	16

# 内副管構造図



流入本管径	内副管				
	D2	L1	L2	L3	L4
150	100	20	178	-	83
200	150	20	245	-	53

$$L3 = h - (L1 + L2 + L4 + t)$$

項目		タイプ									
種別		150-1	150-2	150-3	150-4	150-5	150-6	150-7	150-8	150-9	150-10
		0.6 ≤ h ≤ 1.0	1.0 ≤ h ≤ 1.5	1.5 ≤ h ≤ 2.0	2.0 ≤ h ≤ 2.5	2.5 ≤ h ≤ 3.0	3.0 ≤ h ≤ 3.5	3.5 ≤ h ≤ 4.0	4.0 ≤ h ≤ 4.5	4.5 ≤ h ≤ 5.0	5.0 ≤ h ≤ 5.5
取付管 (本)	内副管用継手	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	90° 曲管 φ100	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
	ブレーション直管 (L=4.0m/本) φ100	0.12	0.24	0.36	0.49	0.61	0.74	0.86	0.99	1.11	1.24
	ステンレス固定バンド	1	1	1	2	2	3	3	4	4	5

注) 1. 各タイプの計算上のhはタイプ範囲の平均値で計上

工事名	井田川・能褒野処理分区下水道管渠布設工事(その1)
処理分区名	井田川・能褒野処理分区
工事箇所	亀山市 能褒野町 地内
名称	副管工標準図
縮尺	A1:S=1:20 A3:S=1:40
図面番号	17

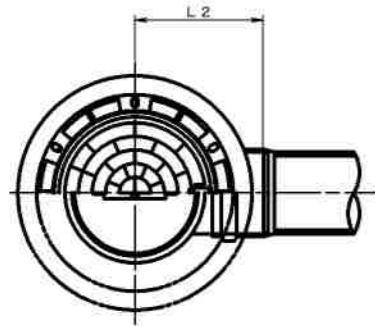
# 塩ビマンホール標準図

JSWAS K-9

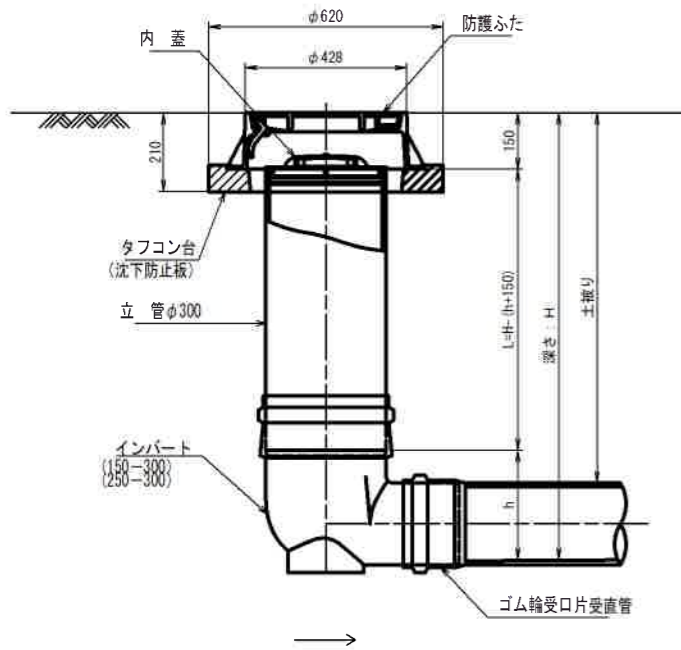
S=1:10

起点インバート

平面図



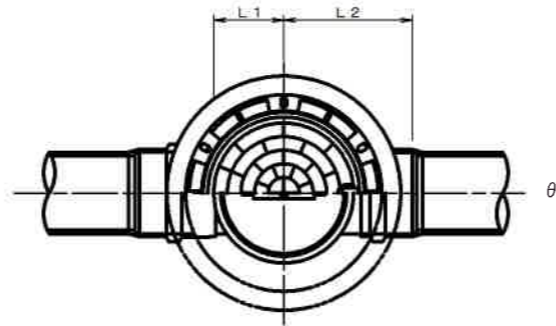
断面図



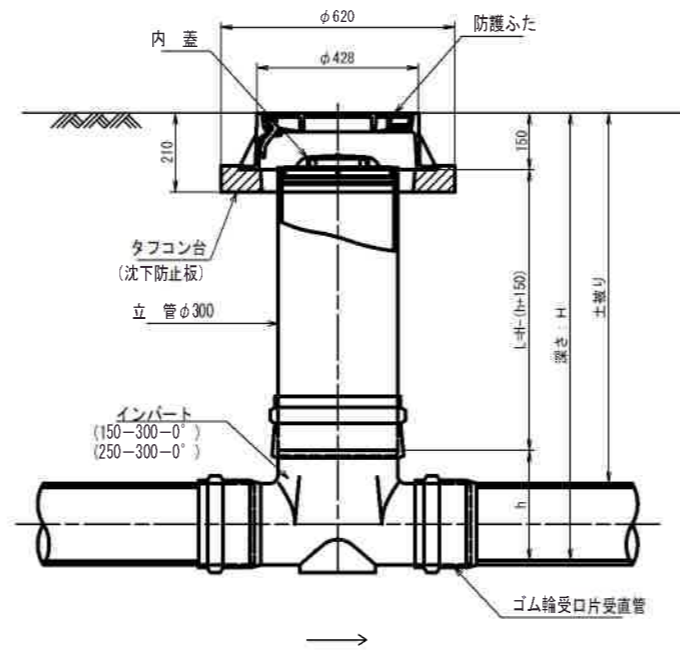
管径	インバート			所用立管長 L (mm)
	種別	L2	h	
φ150	150-300	310	250	H-400
φ250	250-300	350	310	H-460

中間点インバート

平面図



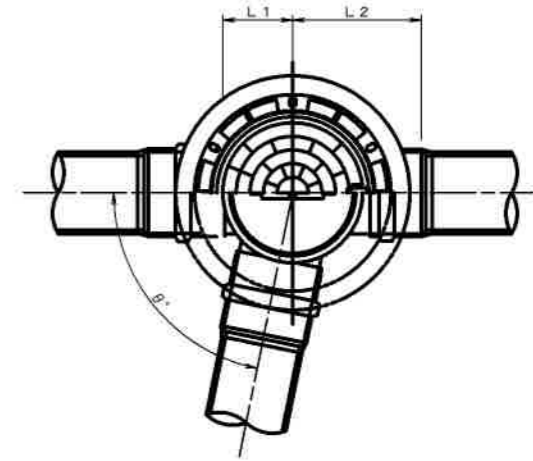
断面図



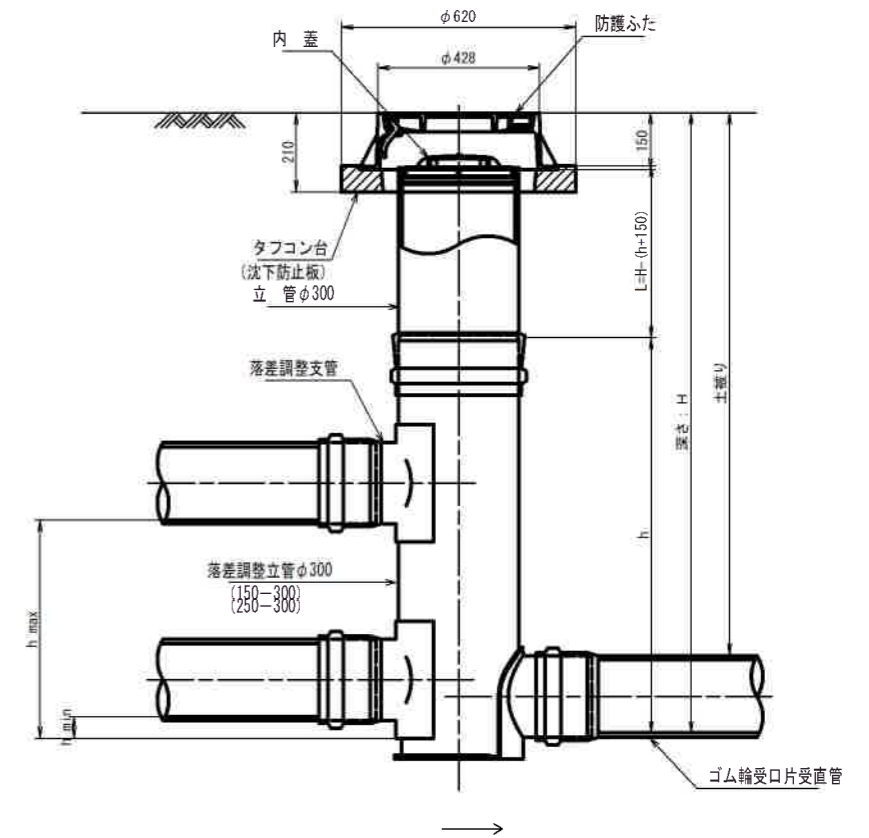
管径	インバート			屈曲角度 (θ)		所用立管長 L (mm)
	種別	L1	L2	h		
				V型自在なし	V型自在使用	
φ150	150-300-0°	200	310	250	0° ±1°	H-400
	150-300-15°	210	310		15° ±1°	
	150-300-30°	220	320		30° ±1°	
	150-300-45°	220	320		45° ±1°	
	150-300-60°	230	330		60° ±1°	
	150-300-75°	250	350		75° ±1°	
	150-300-90°	270	370		90° ±1°	
φ250	250-300-0°	200	360	310	0° ±1°	H-460
	250-300-15°	240	380		15° ±1°	
	250-300-30°	240	380		30° ±1°	
	250-300-45°	250	390		45° ±1°	
	250-300-60°	260	400		60° ±1°	
	250-300-75°	290	430		75° ±1°	
	250-300-90°	360	500		90° ±1°	

落差調整インバート

平面図



断面図

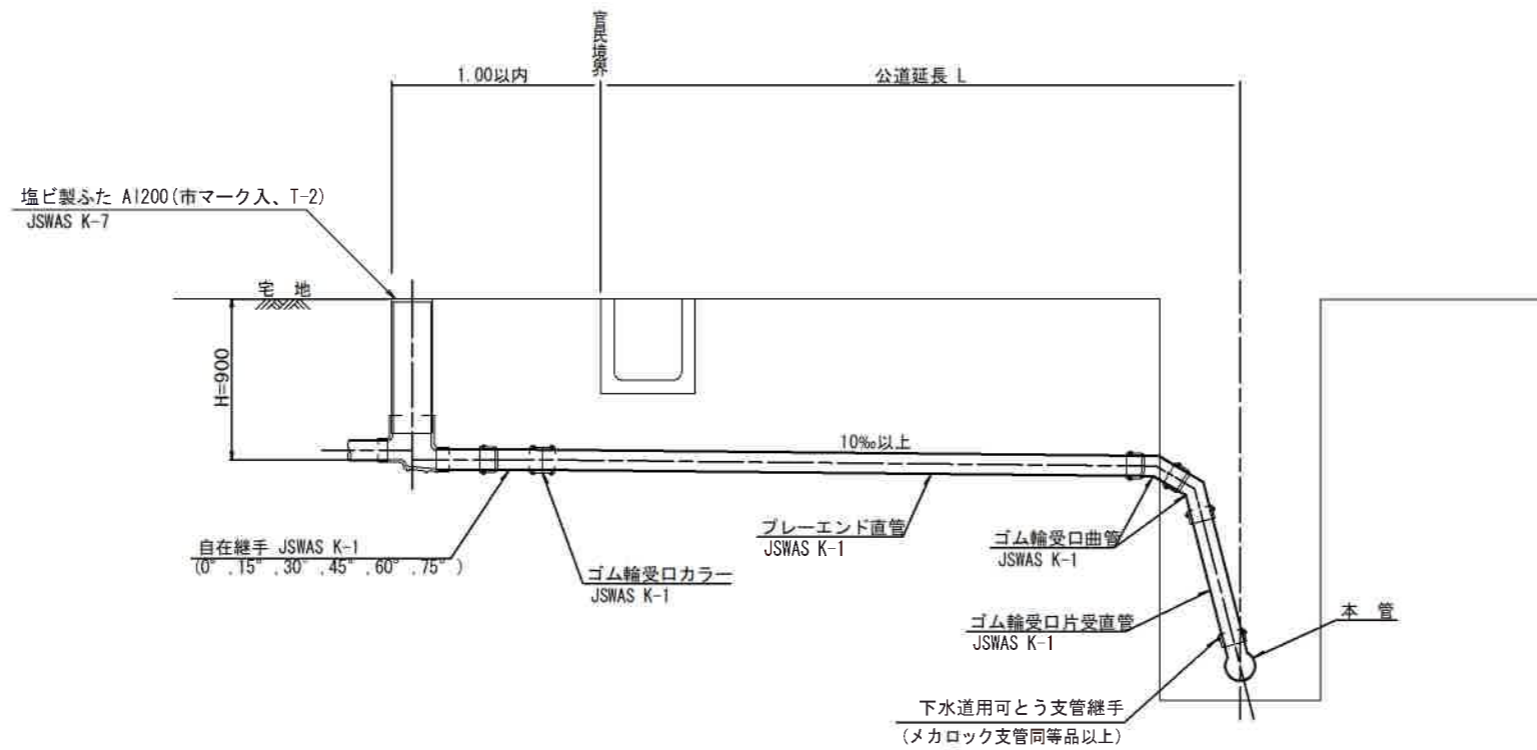


管径	インバート			屈曲角度 (θ)	最小落差 h min	最大落差 h max	所用立管長 L (mm)
	種別	L1	L2				
φ150	150-300	210	310	0° ~90°	50	710	H-1250
φ250	250-300	240	380	0° ~90°	50	845	H-1450

工事名	井田川・能登野処理分区分下水道管架布設工事 (その1)
処理分区分名	井田川・能登野処理分区分
工事箇所	亀山市 能登野町 地内
名称	塩ビマンホール標準図
縮尺	A1:S=1:10 A3:S=1:20
図面番号	18

# 取付管標準図 (Aタイプ)

S=1:20



種別	平均掘削深 (m)	平均公道延長 (m)	掘削		残処理		埋戻し		舗装復旧		管布設延長 (m)	ゴム輪受口カラー (個)	プレートエンド直管 (本)	ゴム輪受口曲管 (本)	自在継手 (個)	ゴム輪受口片受直管 (L=0.80m) (本)	支管 (本)
			舗装切断 (m)	掘削又は入力 (m <sup>3</sup> )	残塊 As (m <sup>3</sup> )	残土 (m <sup>3</sup> )	砂基礎 (m <sup>3</sup> )	良質土 (m <sup>3</sup> )	仮舗装 (m <sup>2</sup> )	路盤工 (m <sup>2</sup> )							
A1-1	1.008	0.50	-	0.187	-	0.057	0.164	0.130	-	-	1.40	1	0.35	2	1	-	1
A1-2	1.013	1.50	1.10	0.817	0.017	0.346	0.336	0.471	0.414	0.414	2.40	1	0.60	2	1	-	1
A1-3	1.018	2.50	3.10	1.457	0.047	0.638	0.508	0.819	1.168	1.168	3.40	1	0.85	2	1	-	1
A1-4	1.023	3.50	5.10	2.103	0.077	0.929	0.681	1.174	1.924	1.924	4.40	2	1.10	2	1	-	1
A1-5	1.028	4.50	7.10	2.758	0.107	1.222	0.853	1.536	2.682	2.682	5.40	2	1.35	2	1	-	1
A1-6	1.033	5.50	9.10	3.418	0.138	1.512	1.025	1.906	3.443	3.443	6.40	2	1.60	2	1	-	1
A1-7	1.038	6.50	11.10	4.088	0.168	1.805	1.198	2.283	4.205	4.205	7.40	2	1.85	2	1	-	1
A1-8	1.043	7.50	13.10	4.764	0.199	2.097	1.370	2.667	4.969	4.969	8.40	3	2.10	2	1	-	1

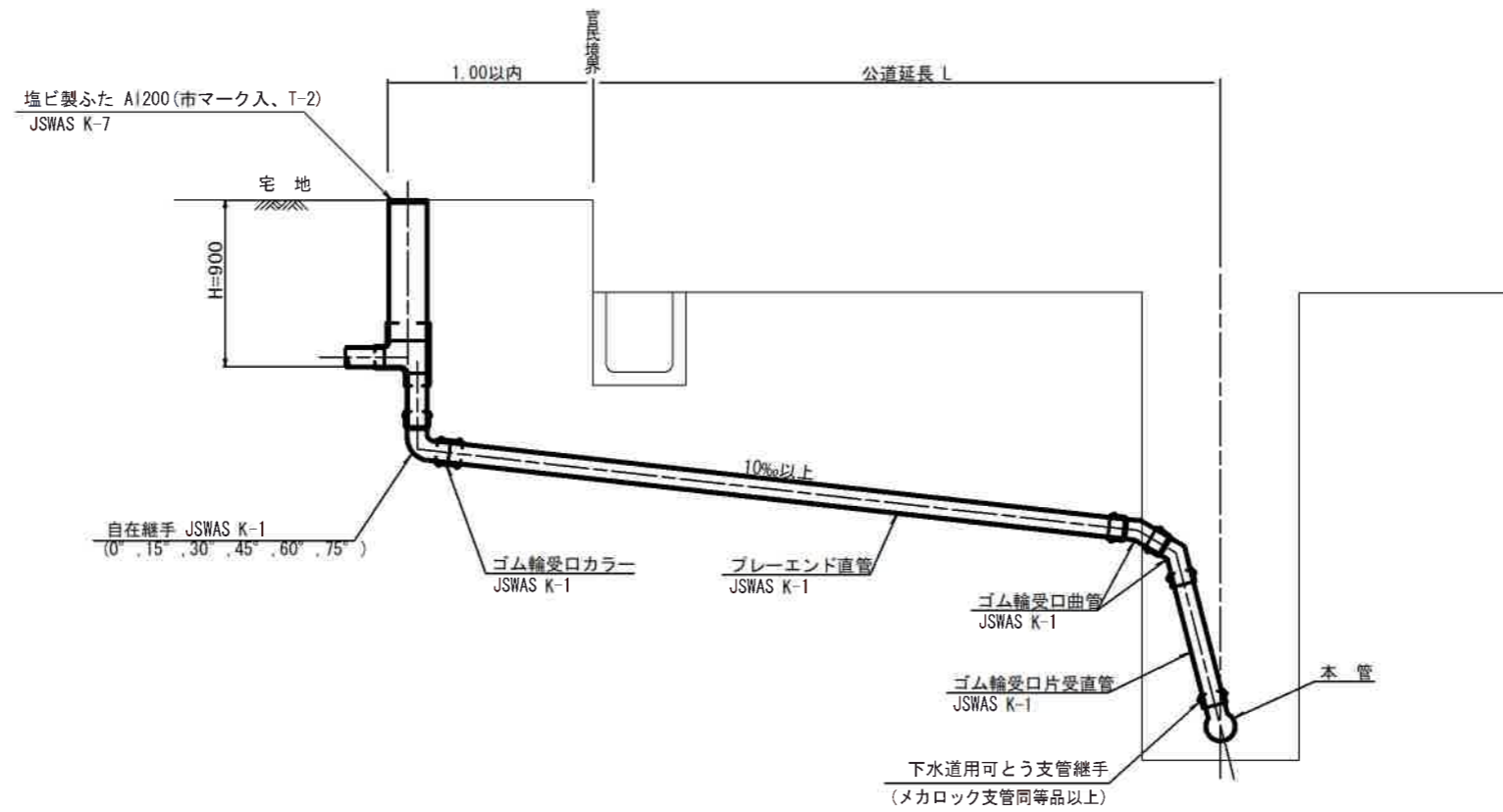
※ ゴム輪受口片受直管 L=0.80m

A2タイプの場合は 1本  
A3タイプの場合は 2本  
A4タイプの場合は 3本

工事名	井田川・船瀬野川種分区分下水道整備工事 (その1)		
図面名	取付管標準図A		
縮尺	A1: S=1:20 A3: S=1:40	図面番号	19
事業者名	龜山市		

# 取付管標準図 (Bタイプ)

S=1:20



種別	平均掘削深 (m)	平均公道延長 (m)	掘削舗装切断 (m)	掘削又は人力 (m <sup>3</sup> )	残塊 As (m <sup>3</sup> )	残土 (m <sup>3</sup> )	砂基礎 (m <sup>3</sup> )	埋戻し 良質土 (m <sup>3</sup> )	舗装復旧 仮舗装 (m <sup>2</sup> )	舗装復旧 路盤工 (m <sup>2</sup> )	管布設 延長 (m)	ゴム輪受口 カラー (個)	ブレイエンド直管 L=1.0m (本)	ゴム輪受口 曲管 (本)	自在継手 (個)	ゴム輪受口 片受直管 L=0.8m (本)	支管 (本)
B1-1	1.008	0.50	-	0.187	-	0.057	0.164	0.130	-	-	1.40	1	0.35	2	1	-	1
B1-2	1.013	1.50	1.10	0.817	0.017	0.346	0.336	0.471	0.414	0.414	2.40	1	0.60	2	1	-	1
B1-3	1.018	2.50	3.10	1.457	0.047	0.638	0.508	0.819	1.168	1.168	3.40	1	0.85	2	1	-	1
B1-4	1.023	3.50	5.10	2.103	0.077	0.929	0.681	1.174	1.924	1.924	4.40	2	1.10	2	1	-	1
B1-5	1.028	4.50	7.10	2.758	0.107	1.222	0.853	1.536	2.682	2.682	5.40	2	1.35	2	1	-	1
B1-6	1.033	5.50	9.10	3.418	0.138	1.512	1.025	1.906	3.443	3.443	6.40	2	1.60	2	1	-	1
B1-7	1.038	6.50	11.10	4.088	0.168	1.805	1.198	2.283	4.205	4.205	7.40	2	1.85	2	1	-	1
B1-8	1.043	7.50	13.10	4.764	0.199	2.097	1.370	2.667	4.969	4.969	8.40	3	2.10	2	1	-	1

※ ゴム輪受口片受直管 L=0.80m

B2タイプの場合は 1本  
B3タイプの場合は 2本  
B4タイプの場合は 3本

工事名	井田川・船瀬野川種分区分下水道整備工事 (その1)		
図面名	取付管標準図B		
縮尺	A1: S=1:20 A3: S=1:40	図面番号	20
事業者名	龜山市		